

《平成 16 年度(2004 年度)》

会員数：27 名 (事務局長：木村俊昭)

総 会 (H16.4.26)

参加：22 名 [ヒルトン小樽]

・総 会

- ①平成 15 年度事業報告
- ②平成 15 年度決算報告
- ③監査報告
- ④平成 16 年度事業計画(案)について
- ⑤平成 16 年度予算(案)について
- ⑥役員の変更、メンバー等の加入・退会について
- ⑦要綱の改正について

・懇 親 会

○メンバー交代：

- ・(財)北海道電力保安協会 小樽総括支部：

佐賀山裕 [総括支部長] ⇒ 梅原 和男 [総括支部長]

- ・小樽信用金庫：

菊池 昭晃 [執行役員本店長] ⇒ 前田 孝 [執行役員本店長]

○退 会 (※年度末(H15.3.31 付)で1名退会し、27名となる。):

- ・佐川光信 [(株)ザ・グラス・スタジオインオタル 常務取締役]

○新規加入 (※年度途中で2名加入し、29名となる。):

- ・上遠野久夫 [(株)産鋼スチール 代表取締役社長]
- ・稲垣 哲哉 [稲垣工芸(株) 専務取締役]

第 1 回役員会 (H16. 6.30)

参加：6 名

※役員会終了後、定例会を開催

- ・C・P・O創立 20 周年記念事業について
- ・メンバーの退会について
- ・メンバーの交代について

第 1 回定例会 (H16. 6.30)

参加：22 名

[しかま]

- ・会員企業紹介

(株)産鋼スチール (代表取締役社長 上遠野久夫)

- ・講 演 会

テーマ： 「食品加工研究センターの支援施策の概要について」

講 師： 北海道立食品加工研究センター 副所長 大嶋 政實 氏

- ・懇 談 会

○退 会 (※年度途中で1名退会し、28名となる。):

- ・吉村和彦〔株好樹園 代表取締役〕

○交代メンバー:

- ・小樽商工会議所
泉田 秀己〔業務部相談課 主事〕 ⇒ 福井谷 始〔業務部長〕
- ・共成製薬株
樋口 茂治〔代表取締役〕 ⇒ 中林 臣雄〔常務取締役〕

第2回役員会 (H16. 8.24) 参加: 6名 〔小樽市役所〕

- ・C・P・O創立20周年記念事業(記念誌の作成)について
- ・「テクノプラザ帯広」との交流会について
- ・建設業のソフトランディング対策セミナーについて

特別事業 (H16. 9. 9~10) 参加: 6名

- ・「2004 全道異業種交流のつどい」参加〔北見市 (ホテルベルクラシック北見) ほか〕

◇主テーマ: 「異業種交流は“岡目八目”の視点にあり」

- ・基調講演

テーマ: 「北海道自立戦略ーカギは道民の自立」

講師: 東京大学 名誉教授 月尾 嘉男 氏

- ・インタビュー講演

テーマ: 「デジタルオーディオ革命の20年を振り返る」

講師: ソニー(株) (元)常務取締役、アイワ(株) (元)代表取締役

中島 平太郎 氏

- ・交流懇親会

第2回定例会 (H16.11. 1) 参加: 17名 〔おたる栄六〕

- ・C・P・O創立20周年記念事業(記念誌の作成)について
- ・「テクノプラザ帯広」との交流会の開催について
- ・講演会
テーマ: 「札幌ホームヘルスケアプロジェクトについて」
講師: 札幌医科大学 大学院 教授 辰巳 治之 氏
- ・懇談会

第3回定例会 (H16.12.27) 参加: 17名 〔嵐山〕

- ・C・P・O創立20周年記念事業(記念誌の作成)について
- ・「テクノプラザ帯広」との交流会の開催について

- ・懇談会

第3回役員会 (H17. 2.18) 参加：8名

※役員会終了後、テクノプラザ帯広との交流会を開催

- ・C・P・O創立20周年記念誌について
- ・平成17年度総会について
- ・「テクノプラザ帯広」との交流会について

特別事業 (H17. 2.18) 参加：CPO11名、テクノプラザ帯広8名 [オーセントホテル小樽]

- ・「テクノプラザ帯広」との意見交換・交流会

第4回役員会 (H17. 3.29) 参加：6名 [小樽市役所]

- ・平成16年度事業について(事業報告、決算)
- ・平成17年度事業について(事業案、予算案、アンケート調査結果)
- ・役員の変更について

《平成15年度(2003年度)》 会員数：28名 (事務局長：木村俊昭)

第1回幹事会 (H15.4.14) 参加：10名

- ・平成15年度総会について
- ・要綱の改正について
- ・役員の変更について

総会 (H15. 4.24) 参加：22名 [まちの寿司本店]

- ・総会
 - ①平成14年度事業報告
 - ②平成14年度決算報告
 - ③監査報告
 - ④平成15年度事業計画(案)について
 - ⑤平成15年度予算(案)について
 - ⑥要綱の改正について
 - ⑦メンバーの新規加入・退会について
 - ⑧その他
 - ・顧問交代(小樽市経済部長)：木谷 洋司 ⇒ 山崎 範夫

- ・懇親会

○メンバー交代：

- ・北海道電力(株) 小樽支店：
忠鉢 和男〔副支店長〕 ⇒ 長岡 勝衛〔副支店長〕

○退 会 (※年度末(H15.3.31 付)で1名退会し、28名となる。):

- ・平尾 満〔共和鉄工(株) 専務取締役〕
〔オブザーバー〕
- ・安田 公彦〔北海道立工業試験場 場長〕 ※定年退職

第1回定例会 (H15. 8. 8) 参加：18名 〔おたる政寿司本店〕

- ・会員企業紹介
北海道電力(株) 小樽支店 (副支店長 長岡勝衛)
- ・講演会
テーマ： 「最近の中国ビジネス情勢について」
講 師： 中華人民共和国 駐札幌総領事 李 鉄民 氏
- ・懇談会

特別事業 (H15. 9.18~19) 参加：10名

- ・「2003 全道異業種交流のつどい」参加〔札幌市 (札幌グランドホテル)〕
◇主テーマ： 「新たな“元気とつながり”を求めて」
- ・シンポジウム
演 題： 「いま、コミュニティビジネスに注目」
- ・具体的事例のプレゼン
- ・交流懇親会

第2回定例会 (H15.11.27) 参加：17名 〔オーセントホテル小樽〕

- ・「移動工業試験場」(※オープン例会)
 - ①知的所有権センターの紹介
テーマ： 「特許等技術の活用について」
講 師： 北海道知的所有権センター 特許流通アドバイザー
白幡 克臣 氏
 - ②技術講習会
テーマ1： 「音声で操作できる電動車椅子の開発について」
講 師： 北海道立工業試験場 情報システム部計測情報科
研究職員 橋場 参生 氏
テーマ2： 「高齢者住宅向け生活センサの開発について」
講 師： 北海道立工業試験場 情報システム部電子システム科
研究職員 大村 功 氏

- ・例 会
 - ①会員企業紹介
 - 小樽信用金庫（理事本店長 菊池昭晃）
 - ③役員交代について
 - ④メンバーの退会について
- ・懇談会

○退 会（※年度途中で2名退会し、26名となる。）：

- ・長井 章〔株小樽製作所 執行役員品質管理部長〕
- ・富樫 正城〔小樽製パン(株) 代表取締役〕

○役員交代（※《同意確認書》にて総会に代え、承認を得た。）：

- (旧) 監事 富樫 正城〔株小樽製パン 代表取締役〕
- (新) 監事 渋谷 陸雄〔三立機電(株) 取締役営業本部長〕

特別事業（H16. 2.21） 参加：6名（各プラザから計19名参加）

- ・「異業種交流連携会議」〔登別グランドホテル〕
 - ①基調講演会
 - テーマ： 「異業種交流・共同研究開発の実例」
 - 講 師： 北海道立工業試験場 技術支援センター所長 尾谷 賢 氏
 - ②参加プラザによる事例報告会 ※7プラザ参加
 - 〔札幌〕 TCプラザ'21(ひぐまの会)
 - 〔函館〕 函館プラザ'92、技術開発サロン
 - 〔室蘭〕 技術情報交換プラザむろらん、小志会
 - 〔苫小牧〕 苫小牧異業種交流プラザ
 - 〔小樽〕 センチュリー・プラザ・オタル
 - ③情報交換会懇談会

第2回幹事会（H16. 3.26） 参加：10名 ※幹事会終了後、定例会を開催

- ・平成15年度事業経過報告について
- ・平成16年度事業、予算について
- ・平成16年度総会日程等について

第3回定例会（H16. 3.26） 参加：23名 〔小樽グランドホテル〕

- ・会員企業紹介
 - 西條産業(株)（代表取締役 西條文雪）
- ・講演会

テーマ： 「後志管内の介護福祉の現状と課題について」

講師： 北ガスジェネックス(株) 代表取締役常務 斉藤 治价 氏

・懇談会

《平成 14 年度(2002 年度)》

会員数：29名 (事務局長：木村俊昭)

総 会 (H14. 4.24)

参加：24名 [小樽グランドホテル]

・総 会

- ①平成 13 年度事業報告
- ②平成 13 年度決算報告
- ③監査報告
- ④平成 14 年度事業計画(案)について
- ⑤平成 14 年度予算(案)について
- ⑥メンバーの新規加入・退会について
- ⑦役員改選について

・新役員：	代表幹事	西條 文雪
	副代表幹事	伴 一夫
	〃	井上 晃
	幹 事	伊藤 太郎
	〃	小笠原眞結美
	〃	飴谷 佳一
	〃	佐川 光信
	〃	忠鉢 和男
	〃	泉田 秀己
	監 事	佐々木義博
	〃	富樫 正城
	相談役	斎田 義孝
	〃	木下 修
	〃	福島 正紘

⑧その他

事務局長交代： 山崎 範夫 ⇒ 木村 俊昭

・懇親会

○退 会 (※前年度末で3名退会となる。):

- ・高橋晃一 [(株)NSニッセイ 代表取締役]
- ・富田洋平 [(株)大ト飯坂富士商店 代表取締役]
- ・吉田敬臣 [昭和製器(株) 取締役社長]

○新規加入（※年度当初に2名加入し、29名となる。）：

- ・樋口茂治〔共成製薬㈱ 取締役社長〕
 - ・三浦一浩〔(有)三浦水産 代表取締役〕
- [オブザーバー]
- ・清水 條資〔北海道立食品加工研究センター 副センター長〕
 - ・山田 家正〔小樽市 顧問 ((前)小樽商科大学 学長)〕
 - ・下川 哲央〔小樽商科大学 ビジネス創造センター センター長〕

第1回幹事会（H14. 6.26） 参加：7名

- ・中国視察について
- ・介護・福祉機器開発研究ワーキンググループの今後の活動について
- ・「全道異業種交流のつどい」について
- ・会員の変更大について

第1回定例会（H14. 7.22） 参加：22名 [オーセントホテル小樽]

- ・講演会
テーマ： 「最近の中国経済情勢について」
講師： 中華人民共和国 駐札幌総領事 孫 平 氏
- ・懇談会

中国視察会（H14.10.13～18） 参加：8名

- ・企業視察
北京、大連市内企業等視察
北京太申祥和山荘(国際敬老院)、民生輪船有限公司天津分公司、北京永卓国際貨運代理有限公司、大連港務局、大連経済技術開発区、中国大連国際合作股分有限公司 ほか

◇北京太申祥和山荘訪問(10/14)



◇万里長城見学(10/14)



◇故宮博物院前広場にて(10/15)



◇中国大連国際合作股分有限公司訪問(10/16)



◇大連市経済技術開発区にて(10/16)



◇中国大連国際研修分公司にて(10/17)



特別事業 (H14.10.24～25) 参加：11名

- ・「2002 全道異業種交流のつどい」参加〔釧路市（釧路パシフィックホテル）〕
 - ◇主テーマ： 「エネルギーから未来を創る～生き抜くエネルギーが欲しい～」
 - ・基調講演
 テーマ： 「プロジェクト成功の条件」
 講 師： NHK プロジェクトX ディレクター 金濱 理卯 氏
 - ・交流懇親会

第2回定例会 (H14.11. 8) 参加：11名 〔小樽グランドホテル〕

- ・定例会
 - ①視察会等報告
 - 「中国視察会」について
 - 「全道異業種交流のつどい」について

②協議事項

介護・福祉機器開発研究ワーキンググループの活動について

- ・福祉・介護機器研修会（※オープン例会）

※定例会(視察報告等)終了後、オープン例会を開催

テーマ： 「これからの目指すべき地域企業の福祉機器開発
(実践成功事例を踏まえて)」

講師： 東京大学大学院 情報工学系研究科 教授 土肥 健純 氏

- ・懇談会

第3回定例会 (H15. 1.20) 参加：23名 [おたる無尽ビル]

- ・講演会

テーマ： 「産学官連携によるモノづくり及び地場産業との意見交換」

講師： 北海道立工業試験場 場長 安田 公彦 氏

- ・懇談会

第2回幹事会 (H15. 2. 7) 参加：9名

- ・平成14年度事業経過報告について
- ・平成15年度総会日程等について

第4回定例会 (H15. 2.22) 参加：9名 [オーセントホテル小樽]

- ・講演会（※オープン例会）

テーマ： 「健康機器の共同研究開発について」

講師： オムロン(株) 取締役副社長 市原 達朗 氏

- ・懇談会

第3回幹事会 (H15. 3.17) 参加：10名

- ・平成14年度事業経過報告について
- ・平成15年度総会日程等について

《平成13年度(2001年度)》 会員数：30名 (事務局長：山崎範夫)

総会 (H13.4.25) 参加：25名 [小樽グランドホテル]

- ・総会

- ①平成12年度事業報告
- ②平成12年度決算報告
- ③監査報告

- ④平成 13 年度事業計画(案)について
- ⑤平成 13 年度予算(案)について
- ⑥メンバーの交代・新規加入・退会について

・懇親会

○退会 (※前年度途中で 3 名退会、年度末で 1 名退会となる。):

- ・角 栄司〔株角印刷所 代表取締役〕
- ・新井 義之〔アライ(株) 代表取締役社長〕
- ・成田 守〔ハル・データシステム(株) 営業本部長〕
- ・中村 純一〔株エヌ・エー・シー 取締役会長〕 ※H13. 3.31 付

○新規加入 (※年度当初に 1 名加入し 30 名となる。):

- ・大橋 一弘〔有碧薬局 取締役〕

第 1 回定例会 (H13. 6.27) 参加：20 名 [ヒルトン小樽]

- ・VTR： 「循環型社会づくりについて」
- ・介護・福祉研究会
テーマ： 「介護・福祉機器の売れ筋、ユニバーサルデザイン、支援策について」
講師： 北海道経済産業局 産業技術課 課長補佐 佐々木隆明 氏
- ・懇談会

第 1 回幹事会 (H13. 8.28) 参加：8 名

- ・「全道異業種交流のつどい」について
- ・会員の拡大について

第 2 回定例会 (H13. 8.30) 参加：28 名 [ユーロダイニング海猫屋]

- ・会員企業紹介
株光合金製作所 (代表取締役副社長 井上 晃)
- ・介護・福祉研究会
テーマ： 「求められる介護・医療福祉機器について」
講師： 北海道大学大学院
工学研究科機械科学専攻 設計機能工学講座 教授 但野 茂 氏
- ・懇談会

特別事業 (H13.10.11～12) 参加：8 名

- ・「2001 全道異業種交流のつどい」参加 [函館市 (ホテル函館ロイヤル)]
◇主テーマ： 「21 世紀の幕開け、新世紀の黒船になろう！
～ロボットテクノロジーの可能性を探る～」

- ・基調講演

テーマ： 「ソニーの挑戦！ロボット時代を拓く」

講師： ソニーエンターテインメント ロボットカンパニー

デピュティプレジデント 大槻 正 氏

- ・交流懇親会

第3回定例会 (H13.12.20) 参加：25名 [おたる政寿司本店]

- ・会員企業紹介

(株)丸み菊地 (取締役会長 菊地 稔)

- ・講演会

テーマ： 「健康とクスリと食品」について

講師： 北海道薬科大学 漢方薬物学 教授 鹿野 美弘 氏

- ・懇談会

第4回定例会 (H14. 2.21) 参加：21名 [オーセントホテル小樽]

- ・講演会 (※オープン例会)

テーマ： 「地方の自立と地方経済を考える」

講師： (財)大原美術館 理事長 大原謙一郎 氏 (倉敷商工会議所 会頭)

第2回幹事会 (H14. 3.26) 参加：7名

- ・平成14年度総会について

- ・役員改選について

《平成12年度(2000年度)》

会員数：34名 (事務局長：山崎範夫)

総会 (H12. 4.25) 参加：30名 [オーセントホテル小樽]

- ・総会

①平成11年度事業報告

②平成11年度決算報告

③監査報告

④平成12年度事業計画(案)について

⑤平成12年度予算(案)について

⑥メンバーの交代・新規加入・退会について

⑦要綱の改正について

- ・懇親会

○メンバー交代：

- ・北海道電力(株) 小樽支店:
伊藤 雅敏〔副支店長〕 ⇒ 忠鉢 和男〔副支店長〕
- ・(財)北海道電気保安協会 小樽総括支部：
井田 寿一〔総括支部長〕 ⇒ 佐賀山 裕〔総括支部長〕
〔アドバイザー（北海道職業能力開発大学校長）〕
大川 時夫 ⇒ 大野 桂一 ※大川氏は、C・P・O顧問として継続参加
〔顧問（小樽市経済部長）〕
藤島 豊 ⇒ 木谷 洋司

○退 会（※前年度末(H12.3.31)で1名退会となる。）：

- ・石原 繁人〔小樽プラスチック工業(株) 営業係長〕

○新規加入（※年度当初に4名加入し、34名となる。）：

- ・高橋 晃一〔(株)NSニッセイ 代表取締役〕
- ・田中 一良〔(株)曲イ田中酒造(株) 代表取締役〕
- ・富田 洋平〔(株)大ト飯坂富士商店 代表取締役〕
- ・吉村 和彦〔(株)好樹園 代表取締役〕
〔オブザーバー〕
- ・安田 公彦〔北海道立工業試験場 工業技術指導センター所長〕
- ・川森 博史〔北海道立地質研究所 海洋地学部長〕

第1回定例会（H12. 6.29） 参加：25名 〔小樽グランドホテル〕

- ・会員企業紹介
 - ①木下合金(株) (代表取締役 木下 修)
 - ②小樽製パン(株) (代表取締役 富樫正城)
- ・講演会
テーマ： 「大学校の説明と企業との連携について」
講 師： 北海道職業能力開発大学校 校長 大野 桂一 氏
- ・懇談会

リサイクルフェスティバル（H12. 7. 1） 参加：4名 〔小樽運河プラザ〕

- ・小樽市環境部主催のリサイクルフェスティバルで、「端材の無料配布コーナー」として、C・P・Oより端材等を提供（5社）

第1回幹事会（H12. 8.18） 参加：7名

- ・「日韓台ソウル大会」等韓国視察について
- ・「全道異業種交流のつどい」について

- ・会員の拡大について

第2回幹事会 (H12. 8.28) 参加：10名

- ・「日韓台ソウル大会」等韓国視察について
- ・「全道異業種交流のつどい」について
- ・会員の拡大について

「日韓台ソウル大会」等韓国視察会 (H12. 8.31～ 9. 3) 参加：10名

- ・「ソウル異業種交流連合会」との交流会
- ・「国際異業種交流シンポジウム」参加

國際 異業種交流 SYMPOSIUM

2000. 9. 1 (金)

- ◆ 日期：2000. 9. 1 (金)
- ◆ 場所：INTERCONTINENTAL HOTEL
 - SYMPOSIUM 及 晚餐：ORCHID ROOM
 - 附設會：CAMELLIA ROOM (30人席)
 - BBS ROOM (40人席)

時 間	內 容	講 者
1 講 壇 部		
13:00-13:00	開 場	
13:00-13:20	開會辭 (韓國)	趙 承 基 總 裁
13:20-14:05	東京臨空新都市 建設事務所 (日本)	高 松 隆 博 所 長
14:05-14:20	東京臨空新都市 建設事務所 (中國分館)	松 岡 謙 三 所 長
14:20-15:05	東京臨空新都市 建設事務所 (泰國)	趙 承 基 總 裁
15:05-15:20	閉 幕	
15:20-15:40	經濟聯合會 招待會 (中國分館)	趙 承 基 總 裁
15:40-16:20	經濟聯合會 招待會 (日本)	趙 承 基 總 裁
16:20-16:40	經濟聯合會 招待會 (泰國)	趙 承 基 總 裁
16:40-18:00	晚 宴	
18:00-18:20	經濟聯合會 招待會 (泰國)	趙 承 基 總 裁
2 講 壇 部		
18:20-18:30	內 務 省 副 長	李 炳 烈 總 裁
18:30-18:40	法 律 (中 心 式 演 說 詞)	趙 承 基 總 裁
18:40-18:45	演 說 詞 (中 心 式 演 說 詞 演 講 者 本 席)	趙 承 基 總 裁
18:45-18:50	結 束 (日 本)	趙 承 基 總 裁
18:50-19:00	演 說 詞 (中 心 式 演 說 詞)	趙 承 基 總 裁
19:00-19:10	結 束 禮 拜 禮 式	
19:10-19:40	晚 宴 及 送 別 會	

- ◆ 主催：(財)全國異業種交流聯合會，(財)中小企業異業種交流財團，中華中小企業跨業交流協會
- ◆ 主協：中小企業部，中小企業振興公團



• 企業視察
釜山市内企業



特別事業 (H12.9.21～22) 参加：10名

- ・「2000 全道異業種交流のつどい」参加〔帯広市（北海道ホテル）〕

◇主テーマ： 「芽吹きの大いささらなる飛躍 21 世紀へ!!」

- ・基調講演

テーマ： 「テッペンランド、いま農業が面白い

～農業を核とした1.2.3化～

講師： 拓殖大学北海道短期大学 環境農学科 教授 相馬 暁 氏

- ・分科会

- ①「環境保全に向けての循環型社会の構築～企業間ネットワーク～」
- ②「雪と寒さは北国を豊にする～みんな集まって北国の知恵～」
- ③「地方の時代～地域経済の自主自立に向けて～」

- ・交流懇親会

第2回定例会 (H12.10.5) 参加：21名 〔ヒルトン小樽〕

- ・会員企業紹介

(株)ミツウマ (取締役工場長 伊藤 章)

- ・講演会

テーマ： 「福祉介護の現状について」

講師： 札幌病院 作業療法士 世良 彰康 氏
大誠堂薬局 桂 正俊 氏

- ・懇談会

第3回幹事会 (H12.11.16) 参加：10名

- ・「日韓台ソウル大会」等韓国視察報告について
- ・SOHOセミナーについて
- ・会員の拡大について

第3回定例会 (H12.12.14) 参加：24名 〔小樽グランドホテル〕

- ・SOHOセミナー (※オープン例会)

テーマ：

講師： (有)ワイズスタッフ 代表取締役 田澤 由利 氏

- ・会員企業紹介

玉井環境システム(株) (特許室長 伊藤太郎)

- ・懇談会

第4回定例会 (H13. 1.19) 参加：21名

- ・企業視察
HOKTAC
- ・「2001 北海道技術・ビジネス交流会」視察
- ・会員企業紹介
東洋化工(株) (取締役会長 佐々木博義)
- ・懇談会 [オーセントホテル小樽]

第4回幹事会 (H13. 3.15) 参加：8名

- ・平成13年度総会について
- ・会員の拡大について

《平成11年度(1999年度)》 会員数：30名 (事務局長：山崎範夫)

第1回幹事会 (H11. 4. 7) 参加：10名

- ・総会について
- ・平成10年度事業報告、決算について
- ・平成11年度事業(案)、予算(案)について

総会 (H11.4.28) 参加：22名 [小樽グランドホテル]

- ・総会
①平成10年度事業報告
②平成10年度決算報告
③監査報告
④平成11年度事業計画(案)について
⑤平成11年度予算(案)について
⑥メンバーの交代について
⑦役員改選について
⑧「'99全道異業種交流のつどい」について
⑨その他

・顧問交代 (小樽市経済部長)： 高橋 康彦 ⇒ 藤島 豊

- ・懇親会

○メンバー交代：

- ・(株)小樽製作所：
長井 章〔取締役〕 ⇒ 宮本 政明〔常務取締役〕

○退 会（※年度途中で1名退会し、30名となる。）：

- ・花田 紀一〔日本電信電話(株) 小樽支店 法人営業室長〕

意見交換会（H11. 6.14） 参加：5名 〔小樽市分庁舎〕

- ・大阪異業種交流団体との交流会

臨時総会（H11. 7. 9） 参加：13名 〔オーセントホテル小樽〕

- ・臨時総会
 - ①新入会員について
 - ②「'99全道異業種交流のつどい」について
- ・懇談会

第1回定例会（H11. 8.20） 参加：18名 〔ヒルトン小樽〕

- ・融雪研修会 I
講師：玉井環境システム(株) 特許室長 伊藤 太郎 氏
- ・韓国異業種交流グループ「済州異業種交流聯合會」との交流会

○新規加入（※年度途中(H11. 8.20)で1名加入し、31名となる。）：

- ・富樫 正城〔小樽製パン(株) 代表取締役〕

第2回定例会（H11. 9. 7） 参加：18名 〔小樽グランドホテル〕

- ・「'99全道異業種交流のつどい in おたる」について
- ・通商産業省の施策についての説明会
説明者：北海道通商産業局 産業技術課
- ・懇談会

第3回定例会（H11. 9.27） 参加：24名 〔小樽市分庁舎〕

- ・「'99全道異業種交流のつどい in おたる」について

第4回定例会（H11.10.6） 参加：15名 〔ヒルトン小樽〕

- ・「'99全道異業種交流のつどい in おたる」について

特別事業（H11.10. 7～ 8） 参加：26名

- ・「'99 全道異業種交流のつどい in おたる」〔ヒルトン小樽〕

◇主テーマ： 「伝統と今、地域に根ざした地場産業戦略

～21世紀へのプロローグ～

【基調講演】

テーマ： これからの中小企業戦略

講師： 三井物産(株) 戦略研究所 所長 寺島 実郎 氏

【分科会】

①「国際競争力のあるものづくり」

②「地域に根ざした商店街づくり」

【交流懇親会】

リサイクルフェスティバル (H11.10.30) 参加：3名

- ・小樽市環境部主催のリサイクルフェスティバルで、「端材の無料配布コーナー」として、C・P・Oより端材等を提供 (5社) ※アンケート回収：42件

帯広視察会 (H11.11.5～6) 参加：5名

- ・企業視察
北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、東洋農機株
- ・「テクノプラザ帯広」役員との懇談会

第5回定例会 (H12.1.26) 参加：15名 [藪半]

- ・「第52回国際軽工業・手工業専門見本市」について
- ・「商店街ラッキーチケット回収事業」及び「商店街活性化セミナー」について
- ・融雪研修会Ⅱ
講師： 玉井環境システム(株) 特許室長 伊藤 太郎 氏
- ・懇談会

ラッキーチケット回収機設置 (H12.2.14～15)

サンモルー一番街商店街アーケード内 (丸井今井小樽店前) に、「ラッキーチケット回収機」を設置

意見交換会 (H12.2.25) 参加：9名 [小樽グランドホテル]

- ・「室蘭異業種交流団体」との懇談会

第2回幹事会 (H12.3.6) 参加：6名

- ・平成12年度総会について
- ・アドバイザーについて
- ・C・P・O主催セミナーについて
- ・会員の拡大について

第3回幹事会 (H12. 3.28)

参加：8名

※幹事会終了後、定例会（オープン例会）を開催

- ・平成12年度総会について
- ・アドバイザーについて
- ・C・P・O主催セミナーについて
- ・会員の拡大について

第6回定例会 (H12. 3.28)

参加：12名 [小樽グランドホテル]

- ・経営戦略セミナー（※小樽市との共催事業）
 テーマ： 「企業経営者からみた商工業支援制度」
 講師： ドゥ(有) 代表取締役 上家二三夫 氏
- ・懇談会

《平成10年度(1998年度)》

会員数：31名

(事務局長：磯谷揚一)

第1回幹事会 (H10. 4.13)

参加：10名

- ・総会について
- ・平成9年度事業報告、決算について
- ・平成10年度事業(案)、予算(案)について

総 会 (H10.4.23)

参加：22名

[海鮮工房バンキーナ]

- ・総 会
 - ①平成9年度事業報告
 - ②平成9年度決算報告
 - ③監査報告
 - ④平成10年度事業計画(案)について
 - ⑤平成10年度予算(案)について
 - ⑥メンバーの加入について
 - ⑦メンバーの交代について
 - ⑧役員交代について
 - ・幹 事 宮本 政明 [株小樽製作所 常務取締役]

〃 井上 晃〔株光合金製作所 専務取締役〕

・懇親会

○新規加入（※年度当初に1名加入し、31名となる。）：

・井田 寿一〔(財)北海道電気保安協会 小樽総括支部長〕

○メンバー交代：

・北海道電力(株)：

佐伯 勲〔小樽電力所長〕 ⇒ 伊藤 雅敏〔副支店長〕

・NTT小樽支店：

神谷 正喜〔小樽支店長〕 ⇒ 花田 紀一〔法人営業室長〕

・小樽商工会議所：

道端 政二〔業務係長〕 ⇒ 北川 和久〔相談係長〕

・三立機電(株)：

中山 繁〔営業本部長〕 ⇒ 渋谷 陸雄〔小樽支店長〕

共催事業（H10. 5.27） 参加：4名 〔小樽生涯学習プラザ「レピオ」〕

・経営戦略セミナー（※小樽市との共催事業）

テーマ： 「ISO14000の取得による環境調和型経営への展開について」

講師： 株エコニクス 技術開発部環境監査グループ課長 伊藤 司 氏

第1回定例会（H10. 6.23） 参加：11名 〔小樽倉庫No.1〕

・外務省木村崇之特命全権大使との意見交換会

・懇談会

第2回幹事会（H10. 7.30） 参加：5名

・第2回定例会について

・「全道異業種交流のつどい」について

・「リサイクルフェスティバル」への参加について

第2回定例会（H10. 9. 8） 参加：7名 〔レストラン好〕

・中国四川省人民対外友好協会訪問団との懇談会

特別事業（H10.9.10～11） 参加：9名

・「'98全道異業種交流のつどい」参加〔室蘭市（中島神社蓬峯殿）〕

◇主テーマ： 「ボーダレス化・グローバル化をあすに架ける橋、異業種交流で」

・講演会

テーマ： 「中小企業生き残りのための異業種交流戦略
～ボーダレス化・グローバル化時代の新しい異業種交流に挑戦～」

講師： テクイ総研 代表 平野 欽一 氏
(中小企業事業団登録カタライザー)

・交流懇親会

リサイクルフェスティバル (H10.10.17) 参加：2名

- ・小樽市環境部主催のリサイクルフェスティバルで、「端材の無料配布コーナー」として、C・P・Oより端材等を提供 (4社) ※アンケート回収：48件

第2回幹事会 (H10.11.4) 参加：9名

- ・経済懇談会について
- ・小樽商科大学留学生と交流について
- ・共同研究開発等について

経済懇談会 (H10.11.17) 参加：10名 [オーセントホテル小樽]

- ・小樽市経済懇談会
テーマ： 「産学官連携の可能性等について」

第3回定例会 (H10.12.2) 参加：9名 [小樽グランドホテルクラシック]

- ・小樽商科大学留学生との懇談会

第4回定例会 (H11.1.22) 参加：5名

※今回も北電のご協力により開催、他から4名参加

- ・「北海道電力(株)札幌西電力所」見学
- ・「'99北海道技術・ビジネス交流会」視察
*小樽市の小間に東洋化工(株)、玉井環境システム(株)が出展

共催事業 (H11.2.25) 参加：3名 [小樽グランドホテル]

- ・まちづくり地域活性化セミナー (※小樽市との共催事業)
テーマ： 「リサイクルからいのちのまちづくり
～環境と共生、いま早稲田から～」

講師： 早稲田商店会 会長 安井潤一郎 氏

《平成9年度(1997年度)》

会員数：30名 (事務局長：磯谷揚一)

第1回幹事会 (H9.4.9) 参加：9名

- ・総会について
- ・平成9年度事業(案)について
- ・役員交代について
- ・メンバー交代について
- ・顧問交代について
- ・会員名簿の配布について

総会 (H9.4.16) 参加：22名 [小樽グランドホテルクラシック]

- ・総会
 - ①平成8年度事業報告
 - ②平成8年度決算報告
 - ③監査報告
 - ④平成9年度事業計画(案)について
 - ⑤平成9年度予算(案)について
 - ⑥役員交代について
 - (旧) 監事 山吹 和康 [昭和製器株 常勤顧問]
 - (新) 監事 菊地 稔 [株丸み菊地 取締役会長]
 - ⑦新規メンバーの加入について
 - ⑧メンバー交代について
 - ⑨顧問交代について
 - ・顧問交代 (小樽市経済部長)： 山田 勝麿 ⇒ 高橋 康彦

・懇親会

○新規加入 (※年度当初に1名加入し、30名となる。):

- ・中山 繁 [三立機電株 取締役営業本部長]

○メンバー交代:

- ・昭和製器株:
 - 山吹 和康 [常勤顧問] ⇒ 高松 正志 [開発室長]

○新規加入 (※年度途中(H9.5.6)で1名加入し、31名となる。):

- ・神谷 正喜 [NTT小樽支店 支店長]

○退会 (※年度途中(H9.5.19付)で1名退会し、30名となる。):

- ・齋藤 宏二 [株宏栄社化学研究所 常務取締役]

第1回定例会 (H9.6.7) 参加：6名 [NTT小樽支店]

- ・道内異業種交流組織(北見・稚内・登別)との Phoenix を利用したの遠隔討論会

共催事業 (H 9. 6.20) 参加：3名 [小樽国際ホテル]

- ・経営戦略セミナー (※小樽市との共催事業)

テーマ： 「ISO9000 の概要と今後の動向について」

講師： 財団法人日本規格協会 品質システム審査登録センター

所長 古山 富也 氏

第2回幹事会 (H 9. 7.30) 参加：5名

- ・第2回定例会について
- ・「全道異業種交流のつどい」について
- ・「リサイクルフェスティバル」への参加について

第2回定例会 (H 9. 9. 4) 参加：10名

- ・企業視察会

ワタキューセイモア(株)、ウェルフェアテクノハウス札幌

- ・異業種交流団体「NCF'97」との懇談会 [小樽海鮮省]

特別事業 (H 9. 9.18~19) 参加：8名

- ・「'97 全道異業種交流のつどい」参加 [稚内市 (稚内全日空ホテル)]

◇主テーマ：「北からの発信 “地域活性化をめざして”」

①特別記念講演

テーマⅠ： 「ヨーロッパの感覚・日本(北海道)の感覚」

テーマⅡ： 「ノルウェイ北海油田開発事情」

講師： (有)KITA&COMPANY 代表取締役 喜多 幸男 氏

②記念講演

テーマ： 「地域社会とインターネット」

講師： 稚内北星学園短期大学 副学長 丸山不二男 氏

③交流懇親会

礼文町・利尻島視察会 (H 9. 9.19~20) 参加：8名

※「全道異業種交流のつどい」参加後

- ・利尻富士町商工会青年部との懇談会

リサイクルフェスティバル (H 9.10.19) 参加：2名

- ・小樽市環境部主催のリサイクルフェスティバルで、「端材の無料配布コーナー」として、C・P・Oより端材等を提供 (5社) ※アンケート回収：56件

第3回幹事会 (H 9.12. 4) 参加：5名

- ・第3回定例会について
- ・今後の事業予定について

第3回定例会 (H 9.12.14) 参加：14名

- ・講演会 [小樽市生涯学習プラザ「レピオ」] (※オープン例会)
テーマ： 「最近の国際情勢について～北海道そして小樽の国際化～」
講師： 自治体国際協力調査研究員 杉岡 昭子 氏
- ・懇親会 [小樽倉庫No.1]

第4回定例会 (H10. 1.30) 参加：6名

※今回も北電のご協力により開催、他から5名参加

- ・オール電化住宅「ディパタウン」見学
- ・「'98 北海道技術・ビジネス交流会」視察
*小樽市の小間に榊木下合金が出展

共催事業 (H10. 2.18) 参加：8名 [小樽グランドホテル]

- ・企業戦略セミナー (※小樽市との共催事業)
テーマ： 「彷徨う時代の『デザイン』の現場」
講師： (株)佐藤卓デザイン事務所 代表取締役 佐藤 卓 氏

第5回定例会 (H10. 3.25) 参加：11名 [藪半]

- ・中国四川省訪日団との交流懇談会
- ・講演会
テーマ： 「最近の中国経済の動きと市場経済化について
～北海道と四川省との経済交流の可能性を探る～」
講師： 中国四川省人民対外友好協会 会長 陳 麟章 氏

《平成8年度(1996年度)》 会員数：29名 (事務局長：磯谷揚一)

第1回幹事会 (H 8. 4. 5) 参加：5名

- ・平成7年度事業報告、決算報告について
- ・平成8年度事業計画(案)、予算(案)について
- ・役員交代について
- ・「全道異業種交流のつどい」について

- ・「北海道技術・ビジネス交流会」について

第1回 (H 8. 4.18) 参加：19名 [小樽グランドホテルクラシック]

・総 会

- ①平成7年度事業報告
- ②平成7年度決算報告
- ③監査報告
- ④平成8年度事業計画(案)について
- ⑤平成8年度予算(案)について
- ⑥役員の交代について

・新役員：	代表幹事	福島 正紘
	副代表幹事	西条 文雪
	〃	末木 堯
	幹 事	本野 宏和
	〃	伊藤 太郎
	〃	小笠原眞結美
	〃	伴 一夫
	監 事	山吹 和康
	〃	佐々木博義
	相談役	斎田 義孝

- ⑦メンバーの交代について

・懇 親 会

○退 会 (※前年度末で1名退会し、29名となる。):

- ・神野 稔久 [(合資)丸二殖産商会]

○メンバー交代:

- ・北海道電力(株) 小樽電力所:
及川 博 [所長] ⇒ 佐伯 勲 [所長]
- ・小樽プラスチック工業(株):
岩倉 悌三 [製造部次長] ⇒ 西山 忠
- ・(株)光合金製作所
井上 一郎 [代表取締役社長] ⇒ 井上 晃 [専務取締役]

第2回幹事会 (H 8. 5.16) 参加：8名

- ・平成8年度事業計画について
- ・小樽市行政改革懇話会委員の推薦について → 福島代表幹事を推薦

第2回定例会 (H 8. 6.26) 参加：15名 [小樽グランドホテル]

- ・会社紹介
 (株)オー・プラン (代表取締役 小笠原真結美)
- ・講演会
 テーマ： 「最近の中国情勢等について」
 講師： 東京三菱銀行 札幌支店長 伊藤 明 氏
- ・懇親会

第3回定例会 (H 8 . 8. 6) 参加：14名 [小樽グランドホテル]

- ・会社紹介
 (株)伴設備 (代表取締役 伴 一夫)
- ・講演会
 テーマ： 「アジア経済圏の深化と中国の内陸開発について」
 講師： 神戸大学 経営学部 助教授 黄 燐 氏
- ・懇親会

特別事業 (H 8.9.19～20) 参加：9名

- ・「**96 全道異業種交流のつどい**」参加 [旭川市 (旭川パレスホテル)]
 - ◇主テーマ： 「これからの時代を生きる“逆転の発想”」
 - ①特別講演
 テーマ： 「ピンチを乗り越える経営～クロネコヤマトの実践から」
 講師： 前ヤマト運輸 社長 都築 幹彦 氏
 - ②講談会
 テーマ： 「いま蘇る名武将の生きざま～ピンチをチャンスにする発想」
 講師： 講談師 宝井 馬琴 氏
 - ③交流懇親会
 - ④エキスカージョン
 「木」「織物」周遊コース： 北海道立林産試験場、クラフト館、
 優佳良織工芸館、
 旭川リサーチセンター、旭川市工芸指導所、
 匠工芸

第3回幹事会 (H 8. 9.27) 参加：6名

- ・平成8年度事業内容の検討について
- ・会員名簿の作成について

第4回定例会 (H 8.10.28) 参加：9名

- ・市内施設見学会
 - ①小樽市中央下水処理場（説明者：中央処理場係 谷口係長）
 - ②手宮洞窟保存館（説明者：教育委員会文化財係 石川吏員）
 - ③小樽交通記念館（説明者：教育委員会 土屋主幹）
- ・懇親会 [小樽倉庫No.1]

第5回定例会 (H 8.11.21) 参加：11名

- ・「北海道立地下資源調査所(現北海道立地質研究所)海洋地学部」視察
(説明者：海洋地学部長 寺島克之)
- ・懇親会 [海石榴]

第6回定例会 (H 8.12.17) 参加：14名 [真寿]

- ・講演会（「雪水資源化による産業振興の提案」）
テーマ：「職能短期大学校に於ける地域テーマの技術・技能の研究・開発について」
講師：北海道職業能力開発短期大学校 校長 大川 時夫 氏
(小樽市異業種交流アドバイザー)
- ・忘年懇親会

第7回定例会 (H 9. 1.24) 参加：8名

※今回も北電のご協力により開催、他から8名参加

- ・「北海道電力総合研究所」見学
- ・「'95 北海道技術・ビジネス交流会」視察
*小樽市の小間に玉井環境システム(株)、東洋化工(株)が出展

共催事業 (H 9. 2.18) 参加：6名 [小樽グランドホテルクラシック]

- ・経営戦略セミナー（※小樽市との共催事業）
テーマ： 「産業構造転換と今後の中小企業経営戦略
～異業種交流の最近の動向～」
講師： 財団法人神奈川県中小企業支援財団
かながわ異業種交流センター 異業種交流担当参事 芝 忠 氏

第4回幹事会 参加：8名

- ・平成8年度及び平成9年度事業内容の検討について

《平成7年度(1995年度)》

会員数：29名

(事務局長：磯谷揚一)

第1回幹事会 (H7.4.6)

参加：6名

- ・平成6年度事業、決算報告について
- ・平成7年度事業(案)、予算(案)について
- ・異業種交流アドバイザーの変更について

第1回定例会 (H7.4.17)

参加：27名

[ニュー三幸本店]

- ・総会
 - ①平成6年度事業報告
 - ②平成6年度決算報告
 - ③監査報告
 - ④平成7年度事業計画(案)について
 - ⑤平成7年度予算(案)について
 - ⑥メンバーの交代について
 - ⑦その他

事務局長交代： 堺 征郎 ⇒ 磯谷 陽一

- ・講演

テーマ： 「地域の国際化、国際交流」

講師： 小樽商科大学 学長 山田 家正 氏

- ・懇親会

○メンバー交代：

- ・小樽信用金庫：

碓井 定義 [本店長] ⇒ 本間 勝 [本店長]

○新規加入 (※年度途中で1名加入し、30名となる。)：

- ・新井 義之 [(株)アライ 代表取締役]

第1回国際化部会 (H7.6.9)

参加：17名

- ・基調講演

テーマ： 「中国経済の現状」

講師： (株)ミツウマ 取締役工場長 伊藤 章 氏

- ・意見交換

第2回定例会 (H7.7.22)

参加：13名

- ・「テクノプラザ帯広」との交流会

①洋上交流会

西條艇、福島艇、木下艇によるクルージング

(マリーナ～オタモイ海岸～マリーナ)

②意見交換交流会 [市民センター会議室]

③懇親会 [運河屋赤煉瓦館]

特別事業 (H 7.10.12～13) 参加：10名

- ・「'95 全道異業種交流のつどい」参加 [苫小牧市]

◇主テーマ： 「21世紀への夢大地」

①特別講演

テーマ： 「変わる…経済と企業の未来」

講師： 経済評論家 波頭 亮 氏

②実験フォーラム

テーマ： 「未来から届いたビデオ」

講師： 北海道大学 教授 山本 強 氏

③交流懇親会

④エキスカーション

苫小牧東部工業基地、オートリゾートアルテン、

苫小牧港フェリーターミナル

⑤親睦ゴルフコンペ

第3回定例会 (H 7.12.14) 参加：24名

- ・講演会

講師： 日本銀行 小樽支店 支店長 中川 淳一 氏

- ・懇親忘年会

第4回定例会 (H 8. 1.19) 参加：15名

- ・「'96 北海道・技術・ビジネス交流会」見学

*C・P・O関連の出展： 玉井産業(株)、東洋化工(株)、(株)光合金製作所

- ・オール電化総合住宅展示場「ディパタウン」視察

共催事業 (H 8. 2.20) 参加：6名

- ・経営戦略セミナー (※小樽市との共催事業)

テーマ： 「付加価値ある商品開発について」

講師： 夢氷工房(株) 代表取締役社長 本間 公康 氏

《平成6年度(1994年度)》

会員数：28名 (事務局長：堺 征郎)

第1回定例会 (H 6. 4.21)

参加：30名 [ダニーデン]

・総 会

- ①平成5年度事業報告
- ②平成5年度決算報告
- ③監査報告
- ④平成6年度事業計画(案)について
- ⑤平成6年度予算(案)について
- ⑥メンバーの交代について
- ⑦メンバーの加入について

・懇 親 会

○メンバー交代：

- ・(合資)丸ニ殖産商会 柳生 圭樹 [代表社員] ⇒ 神野 稔久
- ・(株)小樽製作所 吉村 ⇒ 池田
- ・小樽商工会議所 小向 章市 ⇒ 道端 政二

○新規加入 (※年度当初に1名加入し、29名となる。):

- ・小笠原真結美 [(株)オー・プラン 代表取締役]

第1回リサイクル部会 (H 6. 5.26)

参加：10名

・小樽市環境部との意見交換

- ①下條環境部次長から「産廃」についての説明
- ②フリートーキング
- ③意見交換

第2回定例会 (H 6. 6.14)

参加：15名

・「泊発電所」見学

とまりん館、泊ウインドヒルズ (風力発電)、
泊発電所 (1号機タービン、中央制御室)

・I.M.Oとの懇親会 [梅月]

※ 市内の異業種交流グループI.M.Oとの合同定例会の位置付けで、
懇親交流会を開催。

第1回幹事会 (H 6. 7.22)

参加：6名

- ・函館の異業種交流グループ「(協)異業種交流ひょうたん」との交流について
- ・「94全道異業種交流のつどい」について

- ・「技術・ビジネス交流会」について
- ・部会について

第3回定例会 (H6.8.30~31) 参加：11名

- ・「北海道立工業技術センター」見学
- ・「(協)異業種交流ひょうたん」との交流
協同組合の説明、質疑応答、意見交換
- ・洋上地域づくり交流会 [フェリーベにりあ]

①基調講演

テーマ： 「道南日本海地域のまちおこしを考える」

講師： (有)アークプランニング 代表取締役 荻野 尚利 氏

②事例発表

小樽市民会議、熊石塾、市民創作「函館野外劇の会」、青森県浦村役場

③フリーディスカッション



特別事業 (H 6. 9.29~30) 参加：12名

- ・「'94 全道異業種交流のつどい」参加 [釧路市]

◇主テーマ： 「知・情・楽・縁フロムくしろ」

①基調講演

テーマ： 「笑売の心得」

講師： 吉本興業(株) 代表取締役 中邨 秀雄 氏

②パネルディスカッション

テーマ： 「ルックアップ北海道今問われるサービスの視点」

③交流懇親会

④エキスカーション

a. 釧路湿原コース

b. 太平洋炭礦釧路鉱業坑内見学コース

⑤ゴルフコンペ

第2回リサイクル部会 (H 6.10. 3) 参加：8名

- ・リサイクルフェスティバル打ち合わせ

※環境部主査よりフェスティバルについての概要説明

リサイクルフェスティバル (H 6.10.23) 参加：12名

※小樽市環境部の主催により、運河プラザにて開催

共催事業 (H 6.11.22) 参加：9名

- ・経営戦略セミナー (※小樽市との共催事業)

テーマ： 「地域経済活性化への道」

講師： 道新TODAY 編集長 田村 泰章 氏

- ・講師との懇親会 (※懇親会参加：3名)

第4回 (H 6.12. 5) 参加：23名 [庄坊番屋]

- ・平成6年度事業についての中間報告
- ・忘年懇親会

第5回定例会 (H 7. 1.27) 参加：10名

- ・「北海道電力総合研究所」見学
- ・「'95 北海道技術・ビジネス交流会」見学
 - *C・P・O関連の出展： 玉井産業(株)、東洋化工(株)、(株)光合金製作所
- ・新年懇親会 [ダニーデン] (※懇親会参加：17名)

特別事業 (H 7. 2.20) 参加：3名 [フジヤサントスホテル]

- ・北海道異業種交流連絡協議会主催講演会
 テーマ： 「21世紀にむけての企業経営」
 講師： 日経産業消費研究所 主席研究員 坂東 輝夫 氏

第6回定例会 (H 7. 3.23)

- ・講演会
 テーマ： 「C・P・Oの思い出と異業種交流のあり方」
 講師： 北海道職業能力開発短期大学校 校長 鈴木 建夫 氏
- ・鈴木アドバイザー送別懇親会

《平成5年度(1993年度)》 会員数：30名 (事務局長：堺 征郎)

○新規加入 (※年度当初に2名加入し、30名となる。):

- ・伊藤 章 [(株)ミツウマ 工場長]
- ・伴 一夫 [(株)伴設備 代表取締役]

○メンバー交代:

- ・中村家具(株):
 中村 吉明 [専務取締役] ⇒ 中村 純一 [代表取締役]
- ・玉井産業(株):
 玉井 徹 [代表取締役] ⇒ 伊藤 太郎 [開発部長]
- ・池田製菓(株):
 池田 道彦 [代表取締役] ⇒ 高井 宏 [製造部長]
- ・小樽商工会議所:
 川合 一成 [会頭] ⇒ 大谷 昭三 [専務理事]

※小樽商工会議所は顧問

第1回定例会 (H 5. 5.12) 参加：30名 [ダニーデン]

- ・総 会
 - ①平成4年度事業報告
 - ②平成4年度決算報告
 - ③監査報告
 - ④平成5年度役員体制について
 - ・新役員： 代表幹事 木下 修
 - 副代表幹事 西條 文雪
 - 〃 福島 正紘
 - 幹 事 伊藤 太郎

	〃	末木 堯
	〃	本野 宏和
監 事		佐々木博義
	〃	山吹 和康
相談役		齋田 義孝

⑤要綱の一部変更について

役員の任期を3年とする

⑥平成5年度事業計画(案)について

⑦平成5年度予算(案)について

⑧メンバー交代について

⑨その他

事務局長交代：高橋 康彦 ⇒ 堺 征郎

- ・齋田相談役（前代表幹事）～小樽市長（代理：経済部長）より感謝状を贈呈
- ・懇親会

第2回定例会（H5.7.9～10） 参加：7名

- ・「のぼりべつ水滴の会」との交流会〔登別市〕

①企業見学

ニイズマフーズ、興和工業

②合同定例会

③懇親会

④市内視察

登別伊達時代村、マリパークニクス

特別事業（H5.8.19） 参加：17名

- ・「洋上研修」

西條艇、福島艇、木下艇により祝津岸壁まで往復し、海上から小樽を考える。

※研修終了後、祝津岸壁にて北海道職業訓練短期大学校教官との焼き肉交流会を実施。

特別事業（H5.9.9～10） 参加：15名

- ・「北海道・東北ブロック技術市場交流プラザ」参加

〔札幌テルメインターナショナルホテル〕

①基調講演

テーマ：「日本経済の動向と地域中小企業の課題」

講師：元NHKチーフアナウンサー 大塚 兵栄 氏

②分科会

第1分科会： 「ロシア・極東地域との貿易経済交流」

第2分科会： 「リサイクルと産業活動」

第3分科会： 「21世紀型企業の経営戦略～新異業種交流～」

第3回定例会 (H 5.10. 8) 参加：16名 [平安閣]

・講演会

テーマ： 「実例に学ぶ関西における異業種交流」

講師： システム経営研究所 所長 戸出 武 氏

(中小企業事業団カタライザー)

・北海道中小企業団体中央会、I.M.Oとの懇親会

共催事業 (H 5.11. 4) 参加：11名 [小樽グランドホテル]

・経営戦略セミナー (※小樽市との共催事業)

テーマ： 「人・情報・出会い」

講師： サッポロビール開発㈱ 取締役経営企画室長 植村 泰佳 氏

特別事業 (H 5.11.22) 参加：9名

・「北海道異業種交流連絡協議会・札幌技術交流プラザ」参加

講演会

テーマ： 「生き残る企業の条件

～経営者の意識改革、発想の転換と行動革新を図る～」

講師： テイク総研 代表 平野 欽一 氏

(中小企業事業団カタライザー)

第4回定例会 (H 5.12. 6) 参加：24名 [カフェレストラン好]

・研修会

①「北海道・東北ブロック大会分科会」報告

②戸出氏講演会報告

・忘年懇親会

第5回定例会 (H 6. 1.28) 参加：15名 (一般参加：18名)

・「'94北海道技術・ビジネス交流会」及びサッポロファクトリー「マドレ」視察

・新年懇親会

第1回部会 (H 6. 3. 3) 参加：11名

- ・リサイクル部会設置
 - ①個々の産業廃棄物について説明
 - ②産業廃棄物とリサイクルの現状について意見交換

第6回定例会 (H 6. 3.10) 参加：11名 [平安閣]

- ・北海道中小企業団体中央会との交流会及び中国との国際交流
 - ①中国人研修生2人の講演
 - ②木下代表幹事の講演

特別事業 (H 6. 3.15) 参加：11名 (一般参加：5名) [日専連ビル]

- ・講演会
 - テーマ： 「スロバキア・東欧の現状」
 - 講師： スロバキア大使 ヤーン・ドモク 氏

○退 会 (※年度末で2名退会し、28名となる。):

- ・高井 宏 [池田製菓(株) 製造部長]
- ・芦野 元 [(株)平野商店 代表取締役]

《平成4年度(1992年度)》 会員数：29名 (事務局長：高橋康彦)

第1回定例会 (H 4. 5. 7) 参加：25名

- ・総 会
 - ①平成3年度事業報告
 - ②平成3年度決算報告
 - ③監査報告事務局長
 - ④事業実施要綱改正
 - ⑤平成4年度事業計画(案)について
 - ⑥平成4年度予算(案)について
 - ⑦幹事スタッフ強化
 - ⑧報告事項 (※小樽市異業種アドバイザーの交代)
 - (旧) 北見工業大学 名誉教授 棟 徹夫
 - (新) 北海道職業訓練短期大学校 校長 鈴木 建夫
- ・懇 親 会

合同部会 (H 4. 6. 8) 参加：20名

- ・銭函企業視察会

①誘致企業 …………… だるま食品(株)

②メンバー企業 … (株)小樽製作所

・北海道職業訓練短期大学校見学及び懇談

C・P・Oメンバーが機械科、電子情報科、建築科のそれぞれに分かれ、各担当教諭と懇談

特別事業 (H 4. 7.28～29) 参加：16名

・「'92全道異業種交流のつどい」参加〔帯広市〕

①基調講演

テーマ： 「緑と大地のシンフォニー」

講師： 帯広畜産大学 教授 美濃 羊輔 氏

②分科会

第1分科会： 「環境保全(調和)型農業を求めて」

第2分科会： 「農村圏、都市圏を融合させるには？」

第3分科会： 「寒冷地をいかに生かすか？」

③交流懇親会

④ゴルフ大会、エキスカカーション

第2回定例会 (H 4. 8.19) 参加：22名

・クルージング

テーマ： 「海から見た小樽全景～住み慣れたおたるを見直す～」

・研修会

・懇親会

第3回定例会 (H 4. 9.29) 参加：16名

・北海道職業訓練短期大学校教諭との懇談会

テーマ： 「地場企業と短大とのかかわり」

①短大生の地元定着について

②企業が求める技術者の養成について

③短大が行っている受託・共同研究事業について

・懇親会

第4回定例会 (H 4.10.22) 参加：20名

・「平成4年度北海道技術市場交流プラザ〔函館〕」との交流会

①メンバー企業視察

(株)小樽製作所、(株)光合金製作所

②C・P・Oアドバイザーによる講演

③交流懇親会

共催事業 (H 4.11.26) 参加：23名

・経営戦略セミナー (※小樽市との共催事業)

テーマ： 「企業活性化に取り組んだ私の実践～経営の基本を問い続けて～」

講師： (株)札幌モンドール 代表取締役 下出 正三 氏

第5回定例会 (H 4.12.10) 参加：26名

・研修会

テーマ： 「商工業振興施策と取り組みについて」

・懇親会

第6回定例会 (H 5. 1.29) 参加：11名 (一般参加：13名)

・「'93北海道技術・ビジネス交流会」見学

・「ほくでん総合研究所」見学

第7回定例会 (H 5. 3.19) 参加：20名

・小樽市長を囲んで「経済懇談会」を実施

※市の事業である市長と経済人との懇談会の平成4年度最終事業としてC・P・Oを対象に広く意見交換し、地場企業の振興や技術力の向上につなげることを目的に、各企業から実情や課題を話し合った。

(市側出席： 市長、助役、経済部長ほか 計7名)

◆幹事会活動◆

第1回 (H 4. 4.15) 新幹事体制による打合せ

第2回 (H 4. 7.24) 全道異業種交流のつどい、今後のスケジュールについて

第3回 (H 5. 2.25) 平成4年度事業の締めくくり、新年度予算、
新年度役員体制について

第4回 (H 5. 3.15) 経済懇談会についての打合せ

第5回 (H 5. 3.19) 懇談会反省及び市長との懇談

《平成3年度(1991年度)》 会員数：29名 (事務局長：高橋康彦)

○新規加入 (※年度途中で2名加入し、29名となる。):

・高田 和彦 [小樽商工会議所 業務課長] (代理：小向章市)

※年度途中で、従来「顧問」であった小樽商工会議所が「メンバー」として加入

- ・玉井 徹〔玉井産業(株) 代表取締役〕 ※年度途中で加入

第1回定例会 (H 3. 5.14) 参加：24名

- ・総 会
 - ①平成2年度事業報告
 - ②平成2年度決算報告
 - ③監査報告
 - ④平成3年度事業計画(案)について
 - ⑤平成3年度予算(案)について
- ・懇 親 会

合同部会 (H 3. 6. 6) 参加：23名

- ・サンセットクルージング ※クルージング終了後、各部会開催

第2回定例会 (H 3. 6.19) 参加：10名

- ・「のぼりべつ水滴の会」との交流会
 - ①昼食交流会
 - ②メンバー企業視察
(株)光合金製作所、(株)サイダ

合同部会 (H 3. 8. 7) 参加：20名

- ・「ワイワイ会」
議 題： 各部会の問題点、課題について

第3回定例会 (H 3. 9. 9～10) 参加：10名

- ・「'91 全道異業種交流のつどい」参加〔室蘭市〕
◇主テーマ： 「噴火湾からはばたけ未来21」
 - ①工場見学
新日本製鉄(株) 室蘭製鉄所
 - ②洋上観光
東日本フェリー「へるめす」
 - ③交 流 会
洋上車座トークイン
 - ④懇 親 会 ※懇親会終了後、「のぼりべつ水滴の会」と交流
 - ⑤時局講演

テーマ： 「真珠湾から50年～日本経済力と世界～」

講師： NHK解説委員 持田 直武 氏

⑥懇親ゴルフコンペ

第4回定例会 (H 3.11.11) 参加：20名

・講演会

テーマ： 「夢を探る、夢を育てる」

講師： (財)たくぎんフロンティア基金 常務理事 磯尾 司 氏

第5回定例会 (H 3.11.25) 参加：22名

・経営戦略セミナー (※小樽市との共催事業)

テーマ： 「人と人・ころところ～キロロが目指す企業戦略～」

講師： (株)キロロ開発公社 専務取締役 國田 佳資 氏

第6回定例会 (H 3.12.10) 参加：28名

・報告会

テーマ： 「融合化実践発表を終えて」

報告者： 東洋化工(株) 代表取締役会長 佐々木博義 氏

・懇親会

第7回定例会 (H 4. 1.17) 参加：12名

・「'92北海道技術・ビジネス交流会」見学

・北海道電力(株)のオール電化住宅「ディパタウン」見学

◆幹事会活動◆

① 7月16日

② 10月9日

③ 3月11日

※幹事会の中で、幹事会のスタッフ強化の方策についての話し合いがあり、平成4年度から代表幹事、副代表幹事、幹事という体制に変更。これに伴い、木下修〔(株)木下合金〕、山吹和康〔昭和製器(株)〕、中村吉明〔中村家具(株)〕の3名を幹事として指名。

《平成2年度(1990年度)》

会員数：28名

(事務局長：高橋康彦)

幹事会 (H 2. 4.16) 参加：6名

・幹事会

①平成2年度事業の企画について

- ②事務局体制の変更について
- ③総会、全道異業種交流のつどいについて

第1回定例会 (H 2. 5. 8) 参加：28名

- ・総会
 - ①平成元年度事業報告
 - ②平成元年度決算報告
 - ③監査報告
 - ④平成2年度事業計画(案)について
 - ⑤平成2年度予算(案)について
 - ⑥その他
- 事務局長交代： 多賀 正人 ⇒ 高橋 康彦
- ・懇親会

第2回定例会 (H 2. 6. 6～7) 参加：15名

- ・「'90全道異業種交流のつどい」参加〔北見市〕
 - ①基調講演
テーマ： 「地方の活力を生み出すために」
講師： (株)NHKエンタープライズ キャスター 勝部 領樹 氏
 - ②分科会
 - 第1分科会 「バイオテクノロジーと地域振興」
 - 第2分科会 「北海道の大いなる可能性」
 - 第3分科会 「女性誌から見た野菜の周辺事情」
 - ③懇親懇親会
 - ④市内視察

第3回定例会 (H 2. 7.20) 参加：19名

- ・「ワイワイ会」 ※製品・技術開発部会が主管
「新製品・新技術開発のためのテーマの模索」
- ・懇親会

第4回定例会 (H 2. 7.27) 参加：12名

- ・「苫小牧異業種交流プラザ」との交流会
 - ①交流懇親会
 - ②市内施設見学

○北海道中小企業団体中央会の「融合化組合集中指導事業（組織化指導）」として、本プラザの事業に対し総事業費748,000円の支援があり、今後実施する事業は中央会との連携のもと企画、実施していくことになった。（平成2年度単年度事業）

第5回定例会（H2.8.24） 参加：20名

- ・「市内高校の就職担当教諭との懇談会」 ※人材開発部会が主管
- ・懇親会

第6回定例会（H2.9.18～19） 参加：14名

- ・「テクノプラザ帯広」との交流会
 - ①メンバー企業視察
東洋化工(株)、(株)小樽製作所、(株)光合金製作所、昭和製器(株)
 - ②交流懇親会
 - ③市内見学

第7回定例会（H2.12.8） 参加：16名

- ・講演会
テーマ： 「異業種交流と新製品開発」
講師： 帯広畜産大学 教授 美濃 羊輔 氏
- ・交流懇親会

第8回定例会（H3.1.18） 参加：7名

- ・「'91北海道技術・ビジネス交流会」見学

第9回定例会（H3.2.6） 参加：21名

- ・「'91北海道技術・ビジネス交流会」報告
- ・「電力に関するQ&A」学習会
講師： 北海道電力(株)小樽電力所 所長 後藤 譲 氏

第10回定例会（H3.2.25） 参加：25名

- ・経営戦略セミナー（※小樽市との共催事業）
テーマ： 「人々に夢を与えるサービスとは何か」
講師： (株)オリエンタルランド（東京ディズニーランド）
常務取締役 北村 和久 氏
- ・懇親会

第11回定例会 (H 3. 3.20) 参加：23名

- ・講演会
テーマ：「マリンリゾートと製品開発」
講師：(株)マリンウェーブ小樽 常務取締役 坂東 敏春 氏
- ・懇親会

○退 会 (※年度末で1名退会し、27名となる。):

- ・三浦 喜一 [(有)三浦水産 代表取締役]

◆幹事会活動◆

- ① 10月12日 ② 1月11日 ③ 4月24日

◆各部会の活動◆

	◇製品・技術開発部会◇	◇市場・情報開発部会◇	◇人材開発部会◇
第1回	5月23日	5月24日	5月25日
第2回	6月22日	6月19日	6月20日
第3回	7月20日	7月20日	7月20日
第4回	8月22日	8月22日	8月22日
第5回	11月 1日		10月30日
第6回	11月27日		11月20日
第7回	2月 6日		

◆アンケート調査事業の実施◆

- 「高校との懇談会の継続について」
- 「200ボルト時代を迎えて、電力に関するQ&A」

《平成元年度(1989年度)》 会員数：28名 (事務局長：多賀正人)

○新規加入 (※年度当初に2名入会し、28名となる。):

- ・碓井 定義 [小樽信用金庫 業務推進部長]
- ・本野 宏和 [(株)本野雄次郎商店 業務部長]

第1回定例会 (H 元. 6. 2) 参加：23名

- ・総 会
 - ①昭和63年度事業報告
 - ②昭和63年度決算報告
 - ③監査報告

④平成元年度事業計画(案)について

⑤平成元年度予算(案)について

・懇親会

第2回定例会 (H元. 6.29~30) 参加: 23名

・「技術情報交換プラザむろらん」との交流会

①工場等見学

東洋化工(株)、北海道職業訓練短期大学校、(株)ザ・グラススタジオインオタル

②交流会

講話: カタライザー 碓井 貢 氏

③懇親会

④親睦ゴルフ大会

⑤市内観光

⑥昼食会

第3回定例会 (H元. 7.20) 参加: 10名

・「'89 全道異業種交流のつどい」参加〔恵庭市〕

①講演

②パネルディスカッション

③交流懇親会

第4回定例会 (H元. 9.28) 参加: 14名

・「各部会の中間報告」 ※部会活動状況については、年度の最後に一括掲載

①「製品・技術開発部会」

②「市場・情報開発部会」

③「人材開発部会」

・懇親会

○新規加入 (※年度途中で1名加入し、29名となる。):

・後藤 譲〔北海道電力(株) 小樽電力所 所長〕

第5回定例会 (H2. 1.19) 参加: 10名

・中村家具(株)ショールーム見学

・「北海道技術・ビジネス交流会(北海道工業フェア)」見学

第6回定例会 (H2. 1.26) 参加: 25名

- ・「市内高校の就職担当教諭との懇談会」 ※人材部会 主管
- ・懇親会

第7回定例会 (H 2. 2. 8～ 9) 参加：13名

- ・「旭川異業種交流プラザ」との交流会 [旭川市]
 - ①施設等見学
道立林産試験場「木と暮らしの情報館」、中小企業大学校旭川校、富田木工(株)
 - ②交流懇親会
 - ③「ふゆトピア・フェア」見学

第8回定例会 (H 2. 3.12) 参加20名

- ・経営戦略セミナー (※小樽市との共催事業)
テーマ： 「事業多角化、新分野進出のための経営戦略」
講師： 北海道拓殖銀行 専務取締役 石黒 直文 氏
- ・懇親会

第9回定例会 (H 2. 4. 3) 参加：29名

- ・報告事項
 - ①事務局体制の変更について
 - ②「全道異業種交流のつどい」 [北見] について
- ・各部会最終報告
 - ①製品・技術開発 … 斎藤副部会長
 - ②市場・情報開発 … 木下副部会長
 - ③人材開発 …………… 鳥谷部部会長
- ・懇親会

◆各部会の活動◆

◇製品・技術開発部会◇

第1回	6月16日
第2回	7月14日
第3回	8月25日
第4回	9月20日
第5回	10月20日
第6回	11月17日
第7回	3月15日

◇市場・情報開発部会◇

6月12日
7月12日
8月23日
9月27日
10月30日
11月27日
3月14日

◇人材開発部会◇

6月13日
7月18日
8月28日
9月25日
10月23日
11月20日
3月16日

○退 会 (※年度途中で1名退会し、28名となる。) :

- ・手取 義博 [東洋運輸倉庫株 小樽事業部長]

※平成2年1月の人事異動で東京転勤となった為

《昭和63年度(1988年度)》 会員数：27名 (事務局長：多賀正人)

第1回例会 (S63.5.16) 参加：28名

- ・総 会
 - ①昭和62年度事業報告
 - ②昭和62年度決算報告
 - ③昭和63年度事業計画(案)について
 - ④昭和63年度事業予算(案)について
 - ⑤その他

- ・懇 親 会

親睦ゴルフコンペ (S63.6.14) [赤井川カントリークラブ]

- ・C・P・Oメンバーによる親睦ゴルフコンペ

第2回例会 (S63.6.20) 参加：19名

- ・研 修 会
 - テーマ： 「中小企業融合化法及び(財)全国中小企業融合化財団について」
 - 講 師： 中小企業事業団 桐原 勉 氏
 - 融合化財団 中嶋 博 氏

- ・懇 親 会

第3回例会 (S63.7.21~22) 参加：14名

- ・「全国異業種交流函館大会」参加

第4回例会 (S63.9.14) 参加：21名

- ・工場見学会
 - (株)木下合金、昭和製器(株)
- ・報 告 会
 - ①事務局報告
 - ②「全国異業種交流函館大会」について
 - ③工場アパートについて
 - ④韓国情勢について
- ・懇 親 会

第5回例会 (S63.10.14~15) 参加：14名

・「テクノプラザ帯広」との交流会〔帯広市〕

①工場見学

東洋農機株、細川製館株、佐々木畜産株

②交流会

講話：帯広畜産大学 教授 美濃 羊輔 氏

③懇談会

④親睦ゴルフ大会

⑤市内観光

第6回例会 (S63.12.1) 参加：16名

・経営戦略セミナー (※小樽市との共催事業)

テーマⅠ：「企業飛躍の新戦略―融合化」

講師：小針技術研究所 所長 小針 輝夫 氏

テーマⅡ：「中小企業の生き残り戦略」

講師：(株)丸屋神奈川製作所 代表取締役 坂本 保 氏

第7回例会 (H元.1.20) 参加：12名

・「北海道技術・ビジネス交流会」見学

①展示会見学

②プレゼンテーション

・懇親会

第8回例会 (H元.3.24) 参加：18名

・議題

①アンケート調査結果について

②来年度事業について

③その他

・懇親会

○退 会 (※年度末で1名退会し、26名となる。):

・堀 昭二〔国際インテリアアカデミー 事務局長〕

《昭和62年度(1987年度)》

会員数：29名

(事務局長：多賀正人)

○新規加入（※会員の増強に伴い、年度当初に6名入会し、29名となる。）：

- ・野島忠 久〔株ショッピングはとや 社長〕
- ・木下 修〔株木下合金 専務〕
- ・末木 堯〔株興和産業 社長〕
- ・菊地 稔〔有丸み菊地商店 社長〕
- ・池田 道彦〔池田製菓株 社長〕
- ・成田 守〔株テクノプラザオタル、北海道データシステム株 社長〕

第1回例会（S62. 5.28） 参加：28名

- ・総 会
 - ①昭和61年度事業報告
 - ②昭和61年度決算報告
 - ③昭和62年度事業計画(案)
 - ④昭和62年度事業予算(案)
 - ⑤その他
- ・懇親会

第2回例会（S62. 7.30～31） 参加：29名（大会参加者：300名）

- ・「'87全道異業種交流のつどい」〔小樽開催〕 ※主管事務局として活動
 - ◇主テーマ： 「異業種交流から地場産業再生を
～我がまちの活性化は我々地場産業の手で～」
 - ◇主会場： 小樽商科大学
 - 【基調講演】
 - テーマ： 「中小企業のサバイバル作戦をさぐる」
 - 講師： 専修大学 教授 中村秀一郎 氏
 - 【分科会】
 - ①経営分科会
 - テーマ： 「チェンジ・チャンス・チャレンジ」
 - ②技術・マーケット分科会
 - テーマ： 「めざせ、ニューネットワーク・ニューマーケット」
 - 【ビジネスランデブー】
 - 【プラザ運営会議】 ※プラザ幹事、事務局担当者
 - アドバイザー： 神奈川県工業試験所 専門研究員 芝 忠 氏
 - 【交流パーティー】 ※会場：小樽国際ホテル
 - 【全体会議】 ※会場：小樽国際ホテル
 - ・分科会まとめ

【見学会】

- ・小樽市内見学（貸切バス）

親睦ゴルフコンペ（S62. 9. 4） 参加：7名 [札幌ゴルフクラブ]

- ・C・P・Oメンバーによる親睦ゴルフコンペ

第3回例会（S62. 9. 9） 参加：26名

- ・工場見学会
（株）マルハ橋本商会、（株）興和産業、（株）宏栄社化学研究所、（有）丸み菊地商店、
（株）木下合金
- ・懇談会
①「'87全道異業種のつどい」スライド上映
②昭和62年度事業計画について
③その他
- ・懇親会

第4回例会（S62.10.14） 参加：20名

- ・工場見学会
池田製菓（株）、（株）平野商店、（株）ショッピングほとや、（合資）丸二殖産商会、
北海製糖（株）、
東洋運輸倉庫（株）、国際インテリアアカデミー
- ・懇談会

第5回例会（S62.10.28～29） 参加：16名

- ・「技術情報交換プラザむろらん」との交流会 [室蘭市]
①市内観光
②親睦ゴルフコンペ
③懇談会
④工場等見学会
（株）エイシイテイ、第一金属（株）、札幌エレクトロニクスセンター

第6回例会（S62.12.22） 参加：27名

- ・懇談会
①全国異業種交流連絡協議会の法人化について
②その他
- ・懇親会

第7回例会 (S63. 2.16) 参加: 26名

- ・見学会
北海道職業訓練短期大学校
- ・懇親会

○年度途中のメンバー交代《特例》:

斎藤 弘義〔北海製罐(株) 業務係長〕 ⇒ 岩倉 悌三
〔小樽プラスチック工業(株) 製造次長〕

○退会 (※年度末で2名退会し、27名となる。):

- ・野島 忠久〔(株)ショッピングはとや 代表取締役〕
- ・今 裕之〔(株)マルハ橋本商会 常務取締役〕

《昭和61年度(1986年度)》 会員数: 27名 (事務局長: 多賀正人)

○新規加入 (※年度当初に、会員の拡充により8名入会し、27名となる。):

- ・浅原千代治〔(株)ザ・グラススタジオインオタル 社長〕
- ・芦野 元〔(株)平野商店 常務〕
- ・今 裕之〔(株)マルハ橋本商会 常務〕
- ・斎藤 宏二〔(株)宏栄社化学研究所 常務〕
- ・手取 義博〔東洋運輸倉庫(株) 小樽事業部長〕
- ・螢原 隆信〔(株)螢原鉄工所 社長〕
- ・堀 昭二〔国際インテリアアカデミー 事務局長〕
- ・柳生 佳樹〔(合資)丸二殖産商会 代表社員〕

第1回例会 (S61. 5. 1) 参加: 23名

- ・総会
①昭和60年度事業報告
②昭和61年度事業計画(案)

☆会の名称決定

「センチュリー・プラザ・オタル(略称: C・P・O)」

※名称由来 ⇒

「目先のことに囚われず、一世紀単位でモノを考えるように」

☆年会費決定

懇親会経費 (@3,000円×6回)、道異協加入年会費(2,000円) ⇒
計 20,000円

☆会の名称決定に伴う事業実施要綱の一部改正

[改正内容]

- ・小樽市異業種交流推進懇談会 ⇒ センチュリー・プラザ・オタル
- ・懇談会 ⇒ プラザ

☆会員名簿の作成

- ・講演会
テーマ： 「小樽とガラス工芸」
講師： (株)ザ・グラススタジオインオタル 代表取締役 浅原千代治 氏
- ・懇親会

第2回例会 (S61. 6.25) 参加：13名

- ・「札幌技術交流プラザ」との交流〔札幌市〕
 - ①工場見学
（株）アドステンレス工房、とんでんグループ
 - ②懇談会

第3回例会 (S61. 7. 1～ 2) 参加：11名

- ・「第2回異業種交流全道大会」参加〔旭川市〕
⇒ 次年度開催地を小樽市に決定

臨時会 (S61. 8.12) 参加：19名

- ・報告事項
 - ①「異業種交流全道大会」について
 - ②「札幌技術交流プラザ」との交流について
- ・協議事項
 - ①「全国異業種交流協議会」への加入について
 - ②今後の事業計画について

第4回例会 (S61. 9.11～12) 参加：15名

- ・「北海道・東北技術交流プラザ」参加〔札幌市〕

第5回例会 (S61.10.21～22) 参加：12名

- ・「函館地域技術交流プラザ」との交流会〔函館市〕
 - ①工場見学
北海道パーケット工業(株)、(株)北海道バイオテック
 - ②交流会

③北海道立工業技術センター見学

共同研究開発成果発表会 (S61.10.27)

※記者発表後

製品名： 「二重コルゲートパイプ」

開発者： 東洋化工(株)、(株)小樽製作所

臨時会 (S61.12.4)

- ・「第3回異業種交流全道大会」(昭和62年度、小樽市にて開催)について
 - ①開催希望月日について
 - ②道異協実行委員会委員の選出
 - ③C・P・O実行委員会について

第6回例会 (S62.1.20) 参加：23名

- ・「第3回異業種交流全道大会」について
 - ①テーマについて
 - ②基調講演講師について
 - ③パネラーについて
 - ④その他
- ・報告事項
 - ①「異業種交流事業実態調査」について
 - ②「昭和61年度技術交流プラザ全国大会」について
 - ③「昭和62年度技術改善費補助金説明会」について
 - ④「全国異業種交流協議会」への加入について
- ・懇親会

第7回例会 (S62.3.24) 参加：18名

- ・講演会
テーマ： 「道立工業試験場の今日、明日～あたらしい地域づくりをめざして～」
講師： 北海道立工業試験場 企画情報室長 榎本 氏
〃 技術指導課長 松下 氏
- ・懇親会

○退 会 (※年度末で4名退会し、23名となる。):

- ・石井 伸和 [(株)石井印刷 常務]
- ・佐々木恒治 [(株)小樽音楽企画 専務]
- ・常盤野能且 [小樽商工会議所 事務局次長]

- ・山田 藤夫〔小樽市 経済部長〕

《昭和 60 年度(1985 年度)》 会員数：19 名 (事務局長：寺田佳正)

○退 会 (※年度替わりで4名退会し、19名となる。):

- ・森田 寛〔(有)森田家具店 社長〕
- ・稲垣 賢〔稲垣工芸(株) 社長〕
- ・植田 敏嗣〔大和水産(株) 副社長〕
- ・古川 洋三〔古川製菓(株) 専務〕

○メンバー交代:

- ・北海製罐(株):
和田 秀記〔塗装印刷係長〕 ⇒ 斎藤 弘義〔業務係長〕
- ・小樽商工会議所:
斎藤 正男〔事務局長〕 ⇒ 常盤野能且〔事務局次長〕

第1回例会 (S60. 5.15) 参加：16名

- ・工場見学会
共和鉄工(株)、(株)光合金製作所、(株)サイダ
- ・懇 談 会
テーマ： 「昭和60年度事業計画案、今後の工場見学予定」

第2回例会 (S60. 6.12) 参加：16名

- ・工場見学会
(有)鳥谷部建具店、(株)中村家具、(株)東洋化工、(株)小樽製作所
- ・懇 談 会
テーマ： 「小グループ活動について」

第3回例会 (S60. 7.17) 参加：19名

- ・工場見学会
(有)千秋庵、西條木材産業(株)、(株)福島工務店、昭和製器(株)、(株)石井印刷
- ・懇 談 会
テーマ： 「工場見学会を終えて」

臨 時 会 (S60. 8. 2) 参加：16名

- ・「第1回異業種交流大会(S60. 9.17 ; 札幌市)」について
- ・「異業種交流ブロック協議会東北・北海道大会(S60. 9.12~13 ; 岩手県花巻市)」

について

- ・全道異業種交流連絡協議会への加入について
- ・小グループ活動について
「食」「住」「素材加工」の3グループに分ける。

第4回例会 (S60. 9.17) 参加：11名

- ・「第1回異業種交流大会 (道異協発会大会)」参加〔札幌市〕

臨時会 (S60.10. 2) 参加：19名

- ・「若手経営者との懇談会」への参加
※後志支庁、道商工観光部、工業試験場との懇談

第5回例会 (S60.10.16) 参加：16名

- ・工場見学会
鮎谷製菓(株)、(有)三浦水産、(株)角印刷、北海製罐(株)
- ・懇談会

臨時会 (S60.12.26) 参加：14名

- ・昭和60年度の今後の進め方について
- ・昭和61年度の進め方について
- ・懇親会 (忘年会)

第6回例会 (S61. 1.13) 参加：19名

- ・講演会 (学との連携)
テーマ：「企業者精神と企業の成功」
講師：小樽商科大学 助教授 林 伸二 氏
- ・懇親会

第7回例会 (S61. 3.28) 参加：18名

- ・講演会
テーマ：「海外を目指す中小企業」
講師：札幌高級鋳物株式会社 取締役社長 奥田 晃 氏
- ・懇親会

《昭和59年度(1984年度)》

会員数：23名

(事務局長：寺田佳正)

第1回例会 (S59. 6.28) 参加：17名

・講演会

テーマ： 「異業種交流事業のメリットと留意点」

講師： 北海道機械工業会 専務理事 早川 氏

・懇談会

※懇談会において経過説明、要綱説明、会員紹介

・代表幹事等決定

代表幹事： 齋田 義孝

幹事： 西條 文雪、 福島 正紘

第2回例会 (S59. 7.18) 参加：16名

・講演会

テーマ： 「異業種交流の成功のポイントと具体的事例」

講師： 中田機械技術士事務所 所長 中田 賢治 氏

※川口マリモグループ(埼玉県川口市異業種交流G)のメンバーで、全国各地の異業種グループの指導者。

・懇談会

第3回例会 (S59. 9.13) 参加：13名

・懇談会：

テーマ： 「会員の共通する『市場』について」

※各自の抱える市場の問題点、

新規開拓のネックは何かについて会員相互での話し合い。

宿泊研修会 (S59.10.18～19) 参加：14名

・仁木町アリスファームに宿泊し、流通について研修

講師： アリスファーム 代表 藤門 弘 氏

・懇談会

第4回例会 (S59.11.28) 参加：18名

・懇談会 (意見交換)

テーマ： 「今後の進め方、最近の企業動向と業界動向について」

第5回例会 (S60. 1.16) 参加：19名

・懇談会

テーマ： 「企業データの発表」

第6回例会 (S60. 3.20) 参加：13名

- ・企業データを基に解決方策を探る
- ・新年度の進め方について

《昭和58年度(1983年度)》 会員数：10名 (事務局長：寺田佳正)

第1回例会 (S58.12. 6)

- ・懇談会設立趣旨説明
- ・国内の交流実態、成果及び問題点
- ・今後の進め方の検討

第2回例会 (S59. 1.31)

- ・各企業の悩みの解決事例、現在懸案になっている悩み
- ・今後の具体的な取り組み内容の検討
- ・テーマの設定
- ・メンバーの拡大
- ・定例会の開催日程の決定
- ・会費等費用の検討

小樽市における異業種交流事業の推移

1. 経 緯

「小樽市地場産業振興対策―新たな活路の開拓をめざして―」を促進する方策として、小樽市主要7業種の取り組むべき課題等についてアンケート調査(年度別・業界別)を実施し、その調査結果を基に「7業種の当面取り組みが必要な振興対策」を下記のように絞った。

【調査実施年度及び業種】

- ・昭和54年度(1979年度) 水産加工業、菓子製造業、繊維縫製業
- ・昭和55年度(1980年度) 家具・建具製造業、木材木製品製造業、印刷業
- ・昭和56年度(1981年度) 鉄鋼・機械・金属製品製造業
- ・昭和57年度(1982年度) 7業種の当面取り組みが必要な振興対策のまとめ

《業種ごとの振興対策》

〔水産加工業〕

◇加工原料供給型からの脱却 ～ 高付加価値化への指向

- ・水産加工品の新製品試作開発事業を水産加工協同組合(青年部)に委託。
- ・青年の交流の場、後継者育成の場として適当な規模、構造の研修集会所を業界が検討する。
- ・技術面では、公的試験研究機関との連携強化、技術アドバイザー制度の活用を図る。
- ・業界と行政は、上記のことを相互の緊密な連携のもと助成措置も含め検討してい

く。

◇販路拡張 ～ 消費地での展示会など地場製品PRの推進

- ・業界、行政とも販路拡張の必要性、手法について、より一層斬新な発想を検討し

ていく。

〔菓子製造業〕

◇小樽ブランド製品売り込みPR ～ キャンペーンの展開

- ・過去に実施した東北キャンペーン事業を発展的に展開し、得意先の新規開拓を図る。
- ・小樽市の推奨マークの制定、小樽菓子のシンボルマークの制定についても手段の一つとして検討する。
- ・業界は内部体制の強化により意志統一し、行政はキャンペーン事業展開時には製品及び会社案内をのせたパンフレットの作成や会場の確保等、事業の一部に側面から助成を図る。

〔繊維縫製業〕

◇小樽製品PRの強化 ～ 市内外へのパンフレット等の配布、物産展、見本市等への積極的参加

- ・受注型企业、指導型企业の両面があり、製品も多様化していることから、製品別、企業別、技術別の区分によるカタログを作成し、イメージを浸透させ浮上策とする。
- ・業界は内容、構成について企画し各社から資料を収集し、行政はカタログ作成事業を側面から助成する。

[家具製造業]

◇企画、デザインの研修会、勉強会

- ・消費者ニーズの多様化に対応するため、研修事業も的を絞った内容の工夫が必要。
例えば、講師にデパート大型店の販売担当者を当てる、または懇談会にメンバーとして取り入れる。
- ・主婦を対象に地域別モニターを実施する、新製品開発のアイデアを募集する、新製品を家庭でテストしてもらい、業界からモニターに対し家具情報を流すなど、知識・情報のギブ・アンド・テイクを検討。
- ・業界は得られた研究テーマをもとに企画デザイン技術の講習会、研修会を開催、行政は事業を共催し助成する。

≪ 関係指導機関との連携強化による新製品開発への取り組み ≫

公的指導機関との緊密な連携のもと、一般市民に対する啓蒙、新作家具への意欲の動機づけとして活用し増改築市場への新製品イージー・オーダー家具の研究など、現在のライフスタイルを指向した商品開発を急ぐ。

[建具製造業]

◇一般住宅等潜在需用の掘り起こし ～ 冬枯れ対策

- ・一般住宅向けの改造に伴う建具取り付けや補修等を組合で共同受注し、冬期対策を図る。
- ・業界として増改築市場への取り組みを認識し意志統一を図り、行政はPR事業等に側面から助成を図る。

◇建築様式の変化に対応するための情報の把握

- ・建築業者との定期的な連絡会の開催、同業者間での勉強会等技術、知識情報の先取りから能動的な経営が望まれる。

[木材・木製品製造業]

◇建築業界等関連業界との緊密な連携 ～ 建築様式の変化、製材ニーズの的確な把握

- ・木材協会がリーダーシップを握り、各業界各組合と協議し合同研修会を開催し、きめ細かい業界との接触を重ねる方法を検討する。

[印刷業]

◇人材の養成 ～ 技術者の資質向上

- ・技術革新が続くこの業界においては、熟練を要する分野が少なくなり経験の有無を問わない分野になった。従って技術専門ではなく営業も出来る技術者の養成が必要である。
- ・業界は技術者の資質向上のため専門的、技術的な研修会を担当し、行政は基礎的な営業マンの育成などの研修会を担当する。

[鉄鋼・機械・金属製品製造業]

◇販路拡大キャンペーンの展開及び受注機会の拡大

- ・道内において企業誘致の推進に伴う内外の先端技術企業の進出がめざましいこの業界として、製品の持ち歩きが出来ない企業も多いため、企業カタログ・製品カタログの充実が重要ではあるが、小樽全体の力をPRするためには、発注者側のニーズにマッチした工場要覧等の作成が必要。
- ・業界は、業種別、企業別など新たな視点で分類、編集企画のもと検討を加え、行政はこの事業に対し助成措置を検討する。
- ・受注機会拡大の方策として、各企業の稼働率の低い機械の相互利用、共同受注グループ化の推進を課題として取り組む必要がある。

[7業種共通] 異業種交流事業の推進を

- ・他業種との交流による技術力、情報力を生かした新たな人脈形成や発想の転換、技術力の交換による共同開発の可能性をさぐる異業種交流事業は官民合わせて全国的に展開されている。
- ・小樽においても、新製品開発グループができるなど業種の壁を越えた組織もでき、このような動きを組織化し、育成していくことが必要である。
- ・組織のセクションとして
 - ①組織推進統括グループ
 - ②新製品開発グループ
 - ③企画催事グループ
 - ④2、3世グループ
 - ⑤TQCの普及啓蒙グループ

などをおき、横断的な活動をすることとなるが、具体的には、③のグループが世話役となる相互の企業見学や交流会からスタートすることが考えられる。

- ・業界は、若手を中心となり今後の組織化、運営方法を検討し、行政は業界ニーズに

応え、先進都市の例の調査や企業見学、交流会の促進に意を用いるとともに、経費の一部助成を検討する。

2. 基本的な考え方

- ・地場産業振興対策の七業種共通の取り組み課題として挙げられた、異業種交流事業をこれらの業種を中心に懇談会を設置し、あるべき異業種交流の方向について話し合う場とする。
- ・懇談会のメンバーは、業界の若手(30～40歳台)で各組合・団体のリーダー(又はリーダー格)で7業種の業界からの推薦による者の他、市、商工会議所で構成する。
- ・会の名称は、異業種交流推進懇談会とする。
- ・懇談会の設置目的(昭和58年(1983年)当時)は、「中小企業の技術力、情報力のアップを図り、ひいては、新製品、新技術の共同開発、共同受注などの達成」を目的とするが、その具体化に当たっての方策及び行政や業界の役割について学習及び検討するため設置する。
- ・懇談会の学習、検討事項：
国内の実態、今後市内での異業種交流のあるべき方向、業界や行政の役割等。

3. 具体的な取組内容

(昭和59年(1984年)1月31日開催の第2回懇談会での話し合い内容)

- ①講師招へい講演会
 - ②各企業の自己紹介―「会社案内」「製品カタログ」などを持ち寄る
 - ③メンバーの各工場見学会
 - ④宿泊研修会
 - ⑤先進地視察
 - ⑥行政機関から補助金を受けた企業の事例発表 など
(例：国の技術改善費補助、道の基金協会助成金、市の新製品開発補助金)
 - ⑦メンバーの拡大について、現委員が自らの企業とは異なる業種(競合しない業種＝経営上の秘密等を公開しても支障のない業種)の人を3人以内の範囲で推薦する。
- ※以上のことから下記のメンバーが加わった形で懇談会が構成された。

【スタート当時のメンバー】

○業 界

- | | | | | |
|----------------|-------|-------|-------------|----|
| ・小樽水産加工業協同組合 | 理事 | 三浦 喜一 | 〔有〕三浦水産 | 専務 |
| ・小樽菓子生産会 | 青年部幹事 | 飴谷 佳一 | 〔飴谷製菓(株)〕 | 専務 |
| ・小樽繊維工業会 | 常任理事 | 斎田 義孝 | 〔株〕サイダ | 社長 |
| ・小樽家具建具工業協同組合 | 理事建具 | 森田 寛 | 〔有〕森田家具店 | 社長 |
| ・ | 〃 | 稲垣 賢 | 〔株〕稲垣工芸 | 社長 |
| ・小樽木材協会 | 会員 | 西條 文雪 | 〔西條木材産業(株)〕 | 常務 |
| ・北海道印刷工業組合小樽支部 | 会員 | 石井 伸和 | 〔株〕石井印刷 | 常務 |
| ・北海道機械工業会小樽支部 | 会員 | 井上 一郎 | 〔株〕光合金製作所 | 社長 |
| ○小樽商工会議所 | | 事務局長 | 斎藤 正男 | |
| ○小樽市 | | 経済部長 | 山田 藤夫 | |

⑧テーマの設定 = 新製品、新技術の開発について（長期的目標）

【懇談会追加メンバー】

- | | | |
|--------|-----------|--------|
| ・植田 敏嗣 | 〔大和水産(株)〕 | 副社長 |
| ・田辺謙一郎 | 〔有〕千秋庵 | 社長 |
| ・古川 洋三 | 〔古川製菓(株)〕 | 専務 |
| ・鳥谷部一男 | 〔有〕鳥谷部建具 | 社長 |
| ・中村 吉明 | 〔中村家具(株)〕 | 専務 |
| ・福島 正紘 | 〔株〕福島工務店 | 専務 |
| ・角 栄司 | 〔株〕角印刷 | 社長 |
| ・山吹 和康 | 〔昭和製器(株)〕 | 製造部長 |
| ・和田 秀記 | 〔北海製罐(株)〕 | 塗装印刷係長 |
| ・宮本 政明 | 〔株〕小樽製作所 | 工場次長 |
| ・平尾 満 | 〔共和鉄工(有)〕 | 専務 |
| ・佐々木博義 | 〔東洋化工(株)〕 | 社長 |

‘02 中国視察会（北京市・大連市）

1. 中国視察会開催の経緯

平成14年、当時の西條文雪代表幹事の提案により、急速に経済成長を遂げる中国市場への販路拡大と情報収集をはじめ、中国企業との連携による新製品・新技術の研究開発の可能性を探るために、中国視察会が計画されました。

中国視察会の実施にあたっては、メンバー間において中国に関する意識の醸成を図るため、平成14年7月22日の第1回定例会の講師として、当時、中華人民共和国の駐札幌総領事であった孫平氏をお招きして、「最近の中国経済情勢について」と題した講演会を実施しました。

中国では、首都である北京市と日系企業が多数進出している大連市を視察し、港湾施設や経済特別地区を視察するとともに、中国コンテナ船の貨物誘致及び求められている小樽からの帰荷に関する情報収集・PRを行っています。

なお、帰国後には、ポートセールスで中国を訪問していたグループとの「中国に関する意見交換会」を実施し、今後の展開に関する情報交換を行いました（平成14年12月5日実施：18名出席）。

2. 開催概要

日時：平成14年10月13日（日）～10月18日（金）

行き先：北京市、大連市

参加者：11名

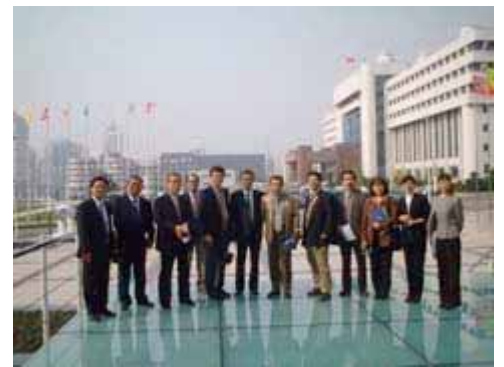
3. 行程表

	発着地 間	現地時	交通機関	日 程	食 事

10月13日 (日)	小樽駅 10:34 新千歳空港 11:46 *集合・各自 13:00 新千歳空港発 14:30 成田空港着 16:00 成田空港発 17:50 北京空港着 20:30 北京市内 22:00	JR JAL562 JAL789	*新千歳空港1階団体カウンター集合 到着後、専用車でホテルへ (北京泊)	朝：－ 昼：－ 夕：機内食
10月14日 (月)	北京市内 08:30 ～ 17:00 17:30 20:00		北京商社（新陽株）ほか訪問 北京太申祥和山荘（福祉）訪問 商社関係者との夕食懇談会 企業・商社関係者との協議 泊 (北京)	朝：○ 昼：○ 夕：○

10月15日 (火)	北京市内 08:30 ~ 15:00 北京空港発 17:00 大連空港着 18:20 大連市内 19:30	XW197 (新華航空)	北京企業訪問・故宮博物館視察 到着後、専用車で大連市内へ 商社関係者との夕食懇談会 (大連泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
10月16日 (水)	大連市内 08:30 10:15 13:30 14:40 15:30 18:00		大連市港湾局訪問 大連市経済技術開発区管理委員会訪問 大連国際合作股分有限公司訪問 神原汽船(株)大連事務所訪問 濱海路視察 大連市関係者との夕食懇談会 (大連泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
10月17日 (木)	大連市内 08:30 ~ 11:00 大連空港発 14:05 成田空港着 17:50 ホテルへ	JAL798	企業訪問・観光施設視察 大連空港へ リムジンバスで移動・ホテルへ (東京泊)	朝:○ 昼:機内食

	21:00			
--	-------	--	--	--



‘00 日・韓・台国際異業種交流ソウル大会

1.ソウル大会の参加経緯

平成11年、済州島からの異業種交流グループが小樽を訪問した際、ぜひ、地元の異業種交流グループと懇親を深めたいとの申し出があり、ヒルトン小樽で懇談会を実施いたしました。

当時は、北海道内での交流は熱心に行っていましたが、国際的な交流を実施したことはほとんどなく、C・P・Oメンバーにとっても大いに刺激を受ける有意義なものでした。

そこで、返礼の意味も込め、韓国を訪問し、現地の異業種交流グループとの親交を深めようと、当時の福島正紘代表幹事の下、企画を進めていたところ、平成12年9月に日・韓・台の3ヶ国の国際異業種交流大会が韓国ソウル市で開催されることを知り、参加することとなったものです。

なお、済州島の皆様とは、平成12年8月31日（木）にソウル市内で再会を果たしています。

2.開催概要

日 時：平成12年8月31日（木）～9月3日（日）

会 場：インターコンチネンタルホテル

参加者：約200名（日本からの参加者：91名、うち小樽からの参加者：16名）

3.行程表

発着地 間	現地時	交通機 関	日 程	食 事
----------	-----	----------	-----	-----

8月31日 (木)	新千歳空港発 14:00 ソウル空港着 17:05 18:00	KE76 6 専用車	新千歳空港2F 国際ロビー 12:30 集合 出 国 入 国 空港出発 19:00 ソウル異業種交流連合会との懇談会	昼：機 内 夕：レストラ ン
9月1日 (金)	13:30	専用車	午前：展示会視察と商談(9:00-12:00) 午後：『国際異業種交流シンポジウム』 夕刻：『交流会』(18:30-20:30)	朝：ホテル 昼：自 由 夕：会 場
9月2日 (土)	ホテル 発 05:30 ソウル空港着 07:30 釜山空港着 08:35 09:00	専用車 KE11 05 専用車	空港（国内線）へ 午前：釜山市・経済団体との懇談会 (10:00-12:00) 午後：釜山市内企業視察(13:30-14:30)	朝：弁 当 昼：レストラ ン 夕：レストラ ン

9 月 3 日 (日)	05:30	専用車	空港へ	朝:空 港
	釜山空港発 07:00	KE11 00	(国際線ターミナルへ移動)	
	ソウル空港着 08:00		出 国	昼:機 内
	ソウル空港発 10:00	KE76 5	入 国	
	新千歳空港着 12:45			

※KE 大韓航空



國際 異業種交流 SYMPOSIUM 日程

◆ 日期：2000. 9. 1 (金)
◆ 場所：INTERCONTINENTAL HOTEL
○ SYMPOSIUM 主 壇：ORCHID ROOM
○ 附設室：CAMELLIA ROOM (20人席)
BIBO ROOM (40人席)

時 間	內 容	備 考
1樓 1樓		
10:00-10:30	開 場	
10:30-10:50	開業式(開演)	開業式 開演
10:50-11:05	開業式(開演) 並 演劇(中外) 11:10	高文謙 主持
11:05-11:20	異業種交流財團 並 演劇(中外) 11:20	何國權 主持
11:20-11:35	異業種交流財團 並 演劇(中外) 11:35	趙志強 主持(何國權)
11:35-11:50	休 息	
11:50-12:05	韓國中小企業 演劇(中外) 12:05	韓國演劇(中外) 12:05
12:05-12:20	韓國中小企業 演劇(中外) 12:20	韓國演劇(中外) 12:20
12:20-12:35	休 息	
2樓 1樓		
13:20-14:00	內 容 演 講	李俊成 主持
14:00-14:40	演 講 演 講 演 講 演 講 演 講	韓國文 主持
14:40-15:20	演 講 演 講 演 講 演 講 演 講	李俊成 主持
15:20-15:40	休 息	
15:40-16:20	演 講 演 講 演 講 演 講 演 講	李俊成 主持
16:20-16:40	休 息	
16:40-17:20	演 講 演 講 演 講 演 講 演 講	李俊成 主持
2樓 1樓		
18:20-18:30	內 容 演 講	李俊成 主持
18:30-18:40	休 息	
18:40-19:00	演 講 演 講 演 講 演 講 演 講	李俊成 主持
19:00-19:20	休 息	
19:20-19:40	演 講 演 講 演 講 演 講 演 講	李俊成 主持
19:40-20:00	休 息	

‘99 全道異業種交流のつどい in おたる

1.開催概要

日 時：平成11年10月7日（木）～8日（金）

テーマ：「伝統と今、地域に根ざした地場産業戦略 21世紀へのプロローグ」

会 場：ヒルトン小樽5階

主 催：北海道異業種交流連絡協議会、中小企業総合事業団、財団法人中小企業異業種交流財団、

センチュリー・プラザ・オタル

後 援：北海道通商産業局（現：北海道経済産業局）、小樽商科大学ビジネス創造センター、

雇用促進事業団、北海道職業能力開発短期大専学校（現：北海道職業能力開発大専学校）、

北海道、小樽市、北海道商工会議所連合会、社団法人北海道機械工業会、小樽商工会議所

参加者：250名

2.大会プログラム

[10月7日(木)]

☆全道異業種交流のつどい in おたる 大会セレモニー

12時30分～13時30分 受 付

13時30分～14時15分 大会セレモニー

14時20分～15時50分 基調講演

テーマ：「これからの中小企業戦略」

講 師：三井物産株式会社 業務部総合情報室長 寺島

実郎 氏

16時00分～17時30分 全道異業種交流のつどい分科会

〈分科会①〉国際競争力あるものづくり

事 例：ISO9000及び14000シリーズ取得

企業

株式会社小樽製作所 取締役 長井 章 氏

昭和製器株式会社 ISO推進本部事務局 大

西 光志 氏

コーディネーター：北海道職業能力開発短期大
講師 園田 隆 氏

*TV会議システムにより、分科会会場とつくば市の
「株式会社

つくば研究支援センター」を結び討論を実施。

協力：(株)つくば研究支援センター、筑波研究学園都
市試験研究

機関等連絡協議会、NTT東日本小樽支店

《つくば市》

株式会社つくば研究支援センター 研究支援部課長
高田 青史 氏

株式会社曾根工具製作所 専務取締役 曾根 栄二
氏

キャノン化成株式会社 施設部環境管理課長 田中
寿秋 氏

〈分科会②〉地域に根ざした商店街づくり

事 例：ポイントカード事業・ファックスネット事業
小樽市商店街振興組合連合会 副理事長 東

豊 氏

いか電ネット協議会 会長 山下 秀治 氏

コーディネーター：小樽商科大学ビジネス創造センタ

ー

センター長 松本 康一郎 氏

18時00分～19時30分 交流・懇親会

☆ 同会場では、第1回全国職人学会が開催されており、

分科会を

それぞれにオープン開催として交流を深めました。

16時00分～17時30分 第1回全国職人学会 分科会

〈分科会③〉産業クラスターによる地場産業振興

事 例：職人業（わざ）による産学官が連携した地場

産業おこし

北海道経済連合会 会長 戸田 一夫 氏

コーディネーター：北海道職業能力開発短期大
校長 大川 時夫 氏

※TV会議／神戸建築技能アカデミー、新工芸創作研究会

(京都) ほか

〈分科会④〉第10回全国大漁旗フォーラム

事 例：大漁旗のデザインやその活用方法

天籟書道会 主宰 浅沼 一道 氏

東京デザイン専門学校 副校長 佐藤 弘幸

氏

東海大学経済学部 教授 雨宮 時男 氏

[10月8日(金)]

☆エキスカーション

〈体験工房〉 8時30分～13時00分

◆会 場：船旗や (小樽市住吉町14番4号)

◆工 房：木のウインドチャイム、銀のアクセサリ、鋳造用のワックスを使ったロウ型、日本古来の和風、吊り手つきの木工トレイ、小物への金箔張り、ガラス浮き球への縄かけ、紋章色紙、ミニ大漁旗、南部裂織、印章、宝飾指輪

〈酒蔵めぐり〉 8時30分～15時00分

◆会 場：ニッカウキスキー (余市町黒川町7丁目6号)

田中酒蔵亀甲蔵 (小樽市信香2番2号)

北海道ワイン (小樽市朝里川温泉1丁目13番地)

◆昼 食：小樽丘の上のビール (小樽市桜4丁目10番1号)

〈ゴルフコンペ〉 7時30分～16時00分

◆会 場：小樽カントリー倶楽部 新コース (小樽市銭函3丁目73番地)

3. 実行委員会

実行委員長：福島 正紘 (センチュリー・プラザ・オタル)

副実行委員長：渡辺 紘一 (技術情報交換プラザむろらん)

中野 正睦 (テクノプラザ帯広)

中陣 憲一 (稚内異業種交流会 北星会)

西條 文雪 (センチュリー・プラザ・オタル)

末木 堯 (センチュリー・プラザ・オタル)

総務部会

部会長：菊地 稔

副部会長：中村 純一
"：本野 宏和
委 員：石原 繁人
"：成田 守
"：平尾 満

講演・分科会部会

部会長：伊藤 太郎
副部会長：木下 修
"：小笠原真結美
委 員：伊藤 雅俊
"：北川 和久
"：渋谷 陸雄
"：螢原 隆信

交流・懇親部会

部会長：佐々木博義
副部会長：伴 一夫
"：井上 晃
委 員：飴谷 佳一
"：北市 幹男
"：佐川 光信
"：高松 正志

エキスカージン部会

部会長：斎田 義孝
副部会長：宮本 政明
"：角 栄司
委 員：新井 義之
"：井田 寿一
"：伊藤 章
"：富樫 正城



'99 全道興業種交流のつどいinおたる

伝統と今、地域に根ざした地域産業戦略

21世紀へのプロローグ

中道 浩二 先生
平成11年度「経営者」一巻総覧
巻頭インタビュー
ヒルトン小樽

ごあいさつ

北海道興業種交流のつどいinおたる。11年度を振り返り、心算を新たにし、さらには、21世紀へのプロローグとして、興業種交流のつどいinおたるを開催させていただきます。また、このつどいinおたるの開催に際しては、ご来賓の皆様からご意見を伺い、今後のつどいinおたるの開催に活かさせていただきます。また、このつどいinおたるの開催に際しては、ご来賓の皆様からご意見を伺い、今後のつどいinおたるの開催に活かさせていただきます。

中道 浩二 先生
三井物産株式会社 取締役 専務 部長 専務 部長 専務 部長

大会プログラム

10月7日 大会セレモニー

10月7日(土) 12:30~13:30
 ◆開会式 12:30~13:30
 ◆中道浩二先生講演 13:30~14:15
 ◆祝詞 14:20~15:50

10月8日 エキスカーション

10月8日(日) 8:30~13:00
 ◆体験工場 8:30~13:00
 ◆酒蔵めぐり 8:30~15:00
 ◆ゴルフコンペ 7:30~16:00

セレモニー 式次第

- 開会
- 大会長挨拶
- 主催者挨拶
- 開催地市長歓迎挨拶
- 来賓挨拶
- 来賓紹介
- 閉会

懇話会

三井物産株式会社 取締役 専務 部長 専務 部長 専務 部長

これからの中小企業戦略

分科会

1. 国際競争力あるものづくり

2. 地域に根ざした商店づくり

MEMO

小樽へようこそ 交流・懇親会

- 開会
- 歓迎挨拶
- 来賓紹介
- 板付
- 交流会
- 次期開催地紹介
- 締め
- 閉会

会場案内 (ヒルトン小樽 5階)

交流懇話会

体験工房

会場/板付や
 [工場]
 ●木工の体験
 ●木工の体験
 ●木工の体験

酒蔵めぐり

●ニッカウヰスキー
 ●酒蔵めぐり
 ●酒蔵めぐり

ゴルフコンペ

時間 7:30~16:00
 開催場所 小樽カントリー倶楽部
 新コース

'99 全道興業種交流のつどいinおたる 実行委員会組織図

‘87 全道異業種交流のつどい in おたる

1. 開催概要

日 時：昭和62年7月30日（木）～31日（金）
テーマ：「異業種交流から地場産業再生を」～我がまちの活性化は我々地場産業の手で～
会 場：小樽商科大学、小樽国際ホテル
主 催：北海道異業種交流連絡協議会、
主 管：センチュリー・プラザ・オタル
後 援：札幌通商産業局（現：北海道経済産業局）、中小企業事業団、北海道、小樽市、
北海道商工会議所連合会、小樽商工会議所、北海道機械工業会、

2. 大会プログラム

[7月30日(木)]

12時00分～ 受 付

☆全道異業種交流のつどい in おたる（会場：小樽商科大学）

13時00分～ 開 会 センチュリー・プラザ・オタル 代表幹事 斎田 義孝 氏

13時02分～ 主催者挨拶 北海道異業種交流連絡協議会 会長 庄村 裕 氏

13時07分～ プラザ紹介

13時20分～ 来賓祝辞 札幌通商産業局長 坂本 春生 氏
中小企業事業団 副理事長 田中 誠一郎 氏
北海道知事 横路 孝弘 氏
小樽市長 新谷 昌明 氏

13時40分～ 基調講演
テーマ：「中小企業のサバイバル作戦を探る」
講 師：専修大学 教授 中村 秀一郎 氏

15時00分～ 閉 会 センチュリー・プラザ・オタル 幹事 福島 正紘 氏

15時15分～17時45分 全道異業種交流のつどい分科会
〈分科会①〉経営分科会
テーマ：「チェンジ・チャンス・チャレンジ」
新分野開拓、事業転換のための異業種交流の

あり方、役割

コーディネーター：株式会社光合金製作所
代表取締役 井

上 一郎 氏

パネラー : 株式会社日本オートメーション
代表取締役 坂

本 道雄 氏

旭川信用金庫 専務理事 松田 忠

男 氏

函館製網船具株式会社

研究開発室長

木本 清暉 氏

北辰土建株式会社 代表取締役 鴨

下 公一 氏

〈分科会②〉技術・マーケット分科会

テーマ：「めざせ、ニューネットワーク・ニューマー

ケット」

地域を超えた技術交流及びマーケット開拓の

方法

コーディネーター：日之出化学工業株式会社
代表取締役

水野 正直 氏

パネラー : 株式会社丸屋神奈川製作所
代表取締役 坂

元 保 氏

株式会社はこだてわいん 専務 梅

村 久男 氏

江本工業株式会社 代表取締役 江

本 央 氏

東洋化工株式会社 代表取締役 佐

々木博義 氏

〈分科会③〉ビジネスランデブー

本州のプラザをまじえての自社製品、商品、

技術の売り込み及び他社技術の導入、提携
のテーブルディスカッション

☆交流パーティ（会場：小樽国際ホテル）

- 18時30分～ 開 会 センチュリー・プラザ・オタル 代表幹事 斎田 義孝 氏
18時32分～ 来賓祝辞 全国異業種交流協議会 会長 大西 節蔵 氏
小樽商工会議所 会頭 川合 一成 氏
小樽商科大学 学長 藤井 栄一 氏
18時45分～ 乾 杯 北海道機械工業会 副会長 山田 信寶 氏
プラザ自己紹介
20時30分～ 閉 会

[7月31日(金)]

☆全体会議（会場：小樽国際ホテル）

- 9時00分～ 分科会まとめ 各分科会コーディネーター
9時30分～ 総 評 北海道異業種交流連絡協議会 会長 庄村 裕 氏
9時40分～ 綱領唱和 センチュリー・プラザ・オタル 代表幹事 斎田 義孝 氏
次回開催地プラザ挨拶 函館地域技術交流プラザ 代表幹事 柳沢 勝
氏
9時50分～ 終了宣言 北海道テクノプラザ 代表幹事 堀川 代志郎 氏

☆見学会

- 10時15分～ 集 合
市内施設の見学
①小樽国際ホテル→②祝津（おたる水族館、鯉御殿、日和山灯台、
祝津マリーナ）→③鉄道記念館→④小樽運河（下車散策）→⑤勝納ふ
頭→⑥北のウォール街→⑦地獄坂→⑧天狗山（ザ・グラススタジオ・
イン・オタル）
*昼食会場：天狗山荘
13時15分 解 散（北陸銀行小樽支店前）
*13時30分より北海道新聞社主催「道新フォーラム」が北陸銀
行小樽支店
にて開催された。